

A nighttime cityscape with a digital network overlay. The city lights are visible, and a network of blue lines and dots is superimposed over the scene, suggesting a global or digital connection. The network lines are more prominent in the foreground and fade into the background.

VERITAS™

# Backup Exec 22 最新情報

ベリタステクノロジーズ合同会社

# Agenda

## Backup Exec 22の最新情報

- リリース全体の概要
- Microsoft 365の保護
  - 画面例でご紹介
- Backup Execのシンプルライセンス
- まとめ

# Veritas Backup Exec 22

## リリース全体の概要

# Veritas Backup Exec 22 リリース全体の概要



## Microsoft 365の保護

Microsoft 365のExchangeとOneDriveのデータ保護がBackup Execに完全に統合されました!



### ExchangeとOneDriveの保護

使い慣れたBackup Execのインターフェースから直接Microsoft 365のExchangeとOneDriveのバックアップとリストアを行うことができます。



### 完全に統合

Microsoft 365 のサポートを Backup Exec に直接統合することで、シンプルで使いやすい操作性を維持します。お客様は、複数の製品を管理することで発生する追加コストや煩雑さを回避できます。



### 柔軟な構成

Microsoft 365のバックアップデータの保存先はBackup Execのローカル重複排除ディスクストレージ。Backup Execサーバはオンプレでもクラウドでも配備できるので、柔軟な構成が可能です。



SharePointと  
Teamsは、  
次期リリースで  
対応予定

# Veritas Backup Exec 22 リリース全体の概要



## シンプルライセンス

Backup Execの新しいライセンスタイプ。サブスクリプション、インスタンス課金をベースにしたシンプルなライセンス。わかりやすく、簡単に拡張ができて、Microsoft 365の保護を含むすべての製品機能が含まれています。



### 合理的なライセンスの拡張

成長する環境に対してさらなる保護が必要な場合、お客様はインスタンスライセンスを追加購入するだけでよいのです。



### 製品の全機能が利用可能

この新しいライセンスモデルには、すべての機能、エージェント、オプションなど、Backup Execのすべてのテクノロジーが完全に含まれています。



### サブスクリプションライセンス

すべての製品機能へのアクセス、最新のセキュリティパッチやアップデートなど、さらなる顧客メリットを実現します。

# Veritas Backup Exec 22

## リリース全体の概要

- **Backup Execデータベース(BEDB)に64bit版のSQL Express 2017を採用**
  - 64bit環境に最適化
  - Backup Exec 22へのアップグレードはBackup Exec 21.x / 20.xからの直接アップグレードのみ
    - 段階アップグレードには対応していません（例：BE16 → BE20.x → BE22 NG）
- **Backup Execクラウド重複排除ストレージにS3互換ストレージのサポート**
  - 詳しい対応状況は弊社ハードウェアコンパティビリティリストをご確認ください。
- **S3互換クラウドストレージのv4認証(sign v4)をサポート**
  - 従来はv2認証のみ。v4認証では地域情報の送信が必要でしたが、この機能を提供するコマンドがBackup Execには備わっていませんでした。

# Veritas Backup Exec 22 Microsoft 365の保護

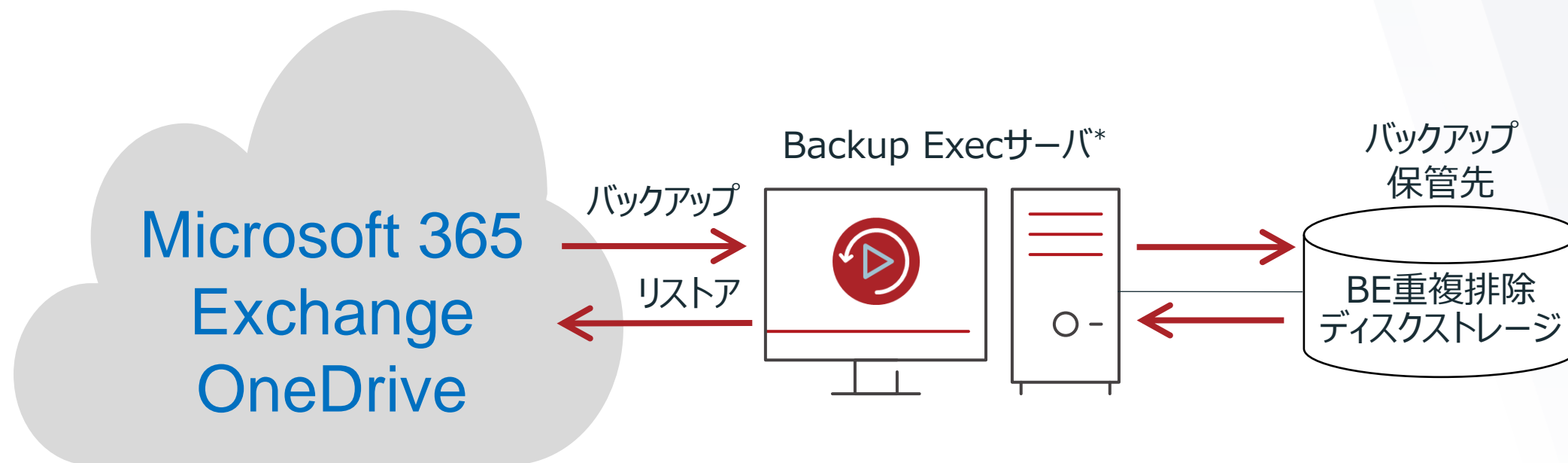
## 画面例でご紹介

注) これからご紹介するいくつかの画面キャプチャーは、正式版から取得したものではないため、  
正式版と若干異なる場合があります。ご了承ください。

# Veritas Backup Exec 22 Microsoft 365の保護



SharePointと  
Teamsは、  
次期リリースで対応  
予定



\*オンプレミス、クラウドに配備が可能

# Microsoft 365の保護：システム要件

- Backup Execサーバーに適切なハードウェア（メモリ、CPU、高性能ディスク）とインターネットの回線速度が備わっていること
- ガイドライン
  - 個々のユーザーのメールボックス/OneDriveが約50個、バックアップアイテム（メール、ファイル、フォルダーなど）約200万個：
    - 8個の論理プロセッサ、M365バックアップ用に使用可能なメモリ：8GB
  - 個々のユーザーのメールボックス/OneDriveが約300個、バックアップアイテム（メール、ファイル、フォルダーなど）約1,200万個以上：
    - 16個の論理プロセッサ、M365バックアップ用に使用可能なメモリ：16GB
- また重複排除ディスクストレージの要件も考慮しなければならないため、重複排除とMicrosoft 365の要件のうち、高い方を採用します。
- Backup Execバージョン22が必要です。Backup Execバージョン21.x/20.xは対応しておりません。
- 先ほど説明した「[シンプルライセンス](#)」が必要です。シンプルライセンスは、BE21/20に導入することはできません。
  - 従来のライセンスタイプ（Bronze/Silver/Gold, V-Ray, 単体ライセンス）はMicrosoft 365の保護には対応しておりません。
- M365のバックアップデータの保管先は、Backup Execの「[重複排除ディスクストレージ](#)」となります。他のタイプのストレージ（テープ、ネットワーク共有、クラウド等）には格納できません。
  - 但し、[バックアップの複製先](#)として使用するストレージは、Backup Execがサポートするストレージを指定することは可能です（テープ、クラウドストレージ等はOK）

# 重複排除用ディスクストレージの準備



ローカルの重複排除ディスクストレージをあらかじめ用意しておく必要があります。ここにM365のバックアップが保存されます。

# M365テナントの追加

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 コンパクト ツリー表示 リスト表示 ソートとフィルタ グループ バックアップ 1 回限りのバックアップ バックアップを編集 バックアップカレンダー リストア 検索 障害回復ディスクの作成 仮想に変換 追加 削除 更新 ジョブキューを保

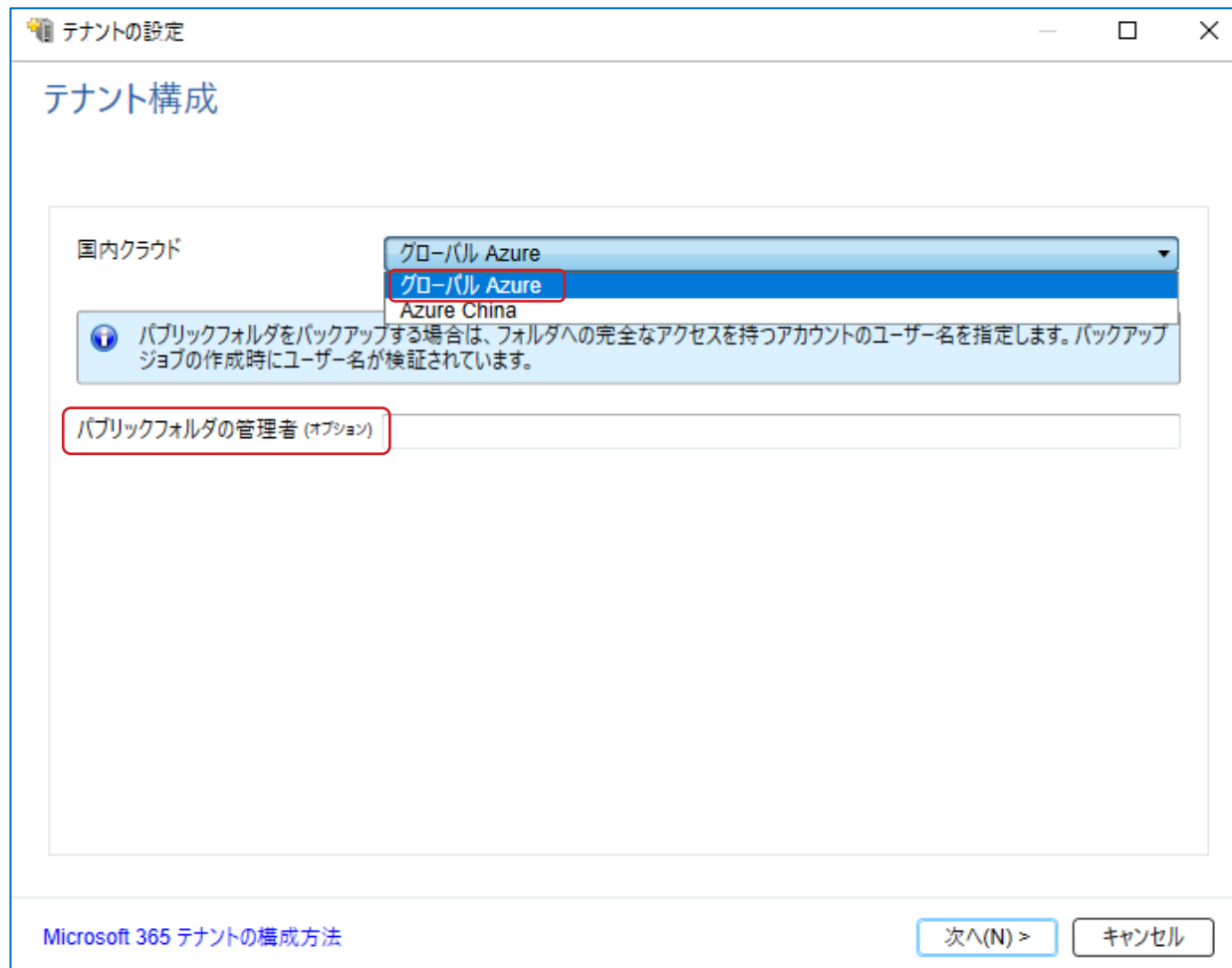
ビュー バックアップ リストア 変換

サーバー

サーバーの追加  
Microsoft 365 テナントの追加

グループ	サーバー ▲	アクティブアラート	状態	過去 7 日間	最終バックアップ	次のバックアップ
すべてのサーバー すべてのサーバーとアプリ... 1 サーバー	besvr01		バックアップされていません	土 日 月 火 水 木 金		
破棄サーバー このグループのサーバーは... 0 サーバー						

# M365テナントの構成



テナントの設定

テナント構成

国内クラウド

グローバル Azure  
グローバル Azure  
Azure China

パブリックフォルダをバックアップする場合は、フォルダへの完全なアクセスを持つアカウントのユーザー名を指定します。バックアップジョブの作成時にユーザー名が検証されています。

パブリックフォルダの管理者 (オプション)

Microsoft 365 テナントの構成方法

次へ(N) > キャンセル

M365のテナントのタイプを選びます。ここでは、「グローバルAzure」を選びます。

パブリックフォルダをバックアップする場合は、ここでパブリックフォルダのルートレベルの管理者権限を持つユーザのEメールアドレスを入力します。ここでは入力していません。

# M365テナントにログイン

テナントの設定

## Microsoft 365 テナントにログイン

Backup Exec で Microsoft 365 テナントを追加、更新、削除するには、グローバル管理者のクレデンシャルでテナントにログインします。

1. デバイスコードをコピーします: HLA2UGGWX **コードのコピー** **コードの更新**

**⚠ デバイスコードは 15 分後に有効期限が切れます。[コードの更新] をクリックして新しいデバイスコードを取得してください。**

2. Microsoft 365 認証リンク **<https://microsoft.com/devicelogin>** に移動して、使用環境に Backup Exec アクセス権を付与してウィザードに戻ります。

☐ 要求された手順に従って、ログインを正常に完了しました。

[デバイスコードの使用方法](#) 次へ(N) > キャンセル

「コードのコピー」ボタンをクリックします。

M365のログインリンクをクリックします。

デバイスコードを貼り付けます。

Microsoft

## コードの入力

アプリまたはデバイスに表示されているコードを入力してください。

**HLA2UGGWXS**

**次へ**


# M365テナントにログイン


Microsoft Azure

Microsoft

アカウントを選択する

日本にある別のデバイスで Microsoft Azure Cross-platform Command Line Interface にサインインしています。お客様ご本人でない場合は、このページを閉じてください。

 [redacted]@jvrts.online

 別のアカウントを使用する

戻る

「グローバル管理者権限を持つアカウントを使ってテナントにログインします  
※このときだけ使います。Backup Exec側で勝手にアクセスしたり、  
ID/パスワードを保存することはありません。

Microsoft Azure

Microsoft

← [redacted]@jvrts.online

パスワードの入力

.....

[パスワードを忘れた場合](#)

サインイン

# M365テナントへのログイン

## Microsoft Azure



@jvrts.online

### Microsoft Azure CLI にサインイン しますか?

信頼できるストアまたは Web サイトからアプリをダウンロードした  
場合のみ、続行してください。

キャンセル

続行



### Microsoft Azure Cross-platform Command Line Interface

デバイスの Microsoft Azure Cross-platform Command  
Line Interface アプリケーションにサインインしました。このウイ  
ンドウは閉じてかまいません。

# M365テナントへのログイン

デバイスのログインが完了したら、チェックボックスにチェックを入れます。

テナントの設定が完了すると、下記のように表示されます。  
Azure Active Directoryへのアプリケーションの登録が完了したこと、テナントから必要なAPIを呼び出して、バックアップに必要なデータを取得する準備が整ったことが確認できます。

テナントの設定

### Microsoft 365 テナントにログイン

Backup Exec で Microsoft 365 テナントを追加、更新、削除するには、グローバル管理者のクレデンシャルでテナントにログインします。

1. デバイスコードをコピーします: HLA2UGGWX [コードのコピー](#) [コードの更新](#)

⚠ デバイスコードは 15 分後に有効期限が切れます。[コードの更新] をクリックして新しいデバイスコードを取得してください。

2. Microsoft 365 認証リンク <https://microsoft.com/devicelogin> に移動して、使用環境に Backup Exec アクセス権を付与してウィザードに戻ります。

☒ 要求された手順に従って、ログインを正常に完了しました。

[デバイスコードの使用方法](#) [次へ\(N\) >](#) [キャンセル](#)



テナントの設定

### 概略

成功

**テナント構成**

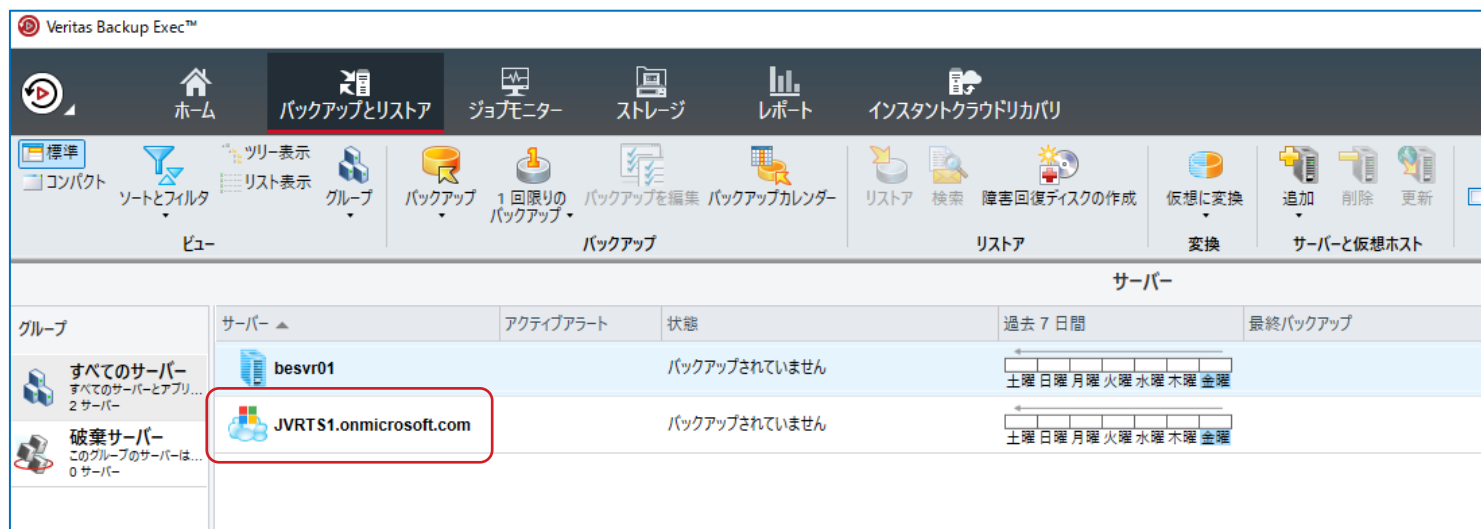
国内クラウド	グローバル Azure
パブリックフォルダの管理者	

**追加の詳細**

Azure Active Directory アプリケーションが作成され、構成されました。  
VeritasBackup\_besvr01\_981f48cb-d4dc-5ad5-8361-b66d6a6565b6  
Microsoft Graph API を呼び出すテストに成功しました。  
Exchange Online API を呼び出すテストに成功しました。

[完了\(F\)](#)

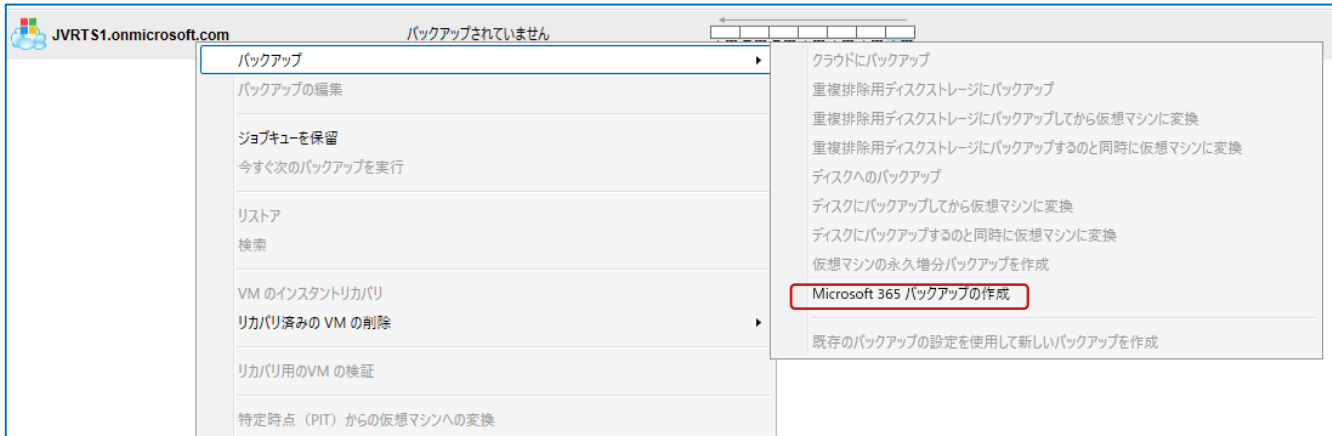
# M365テナントの追加



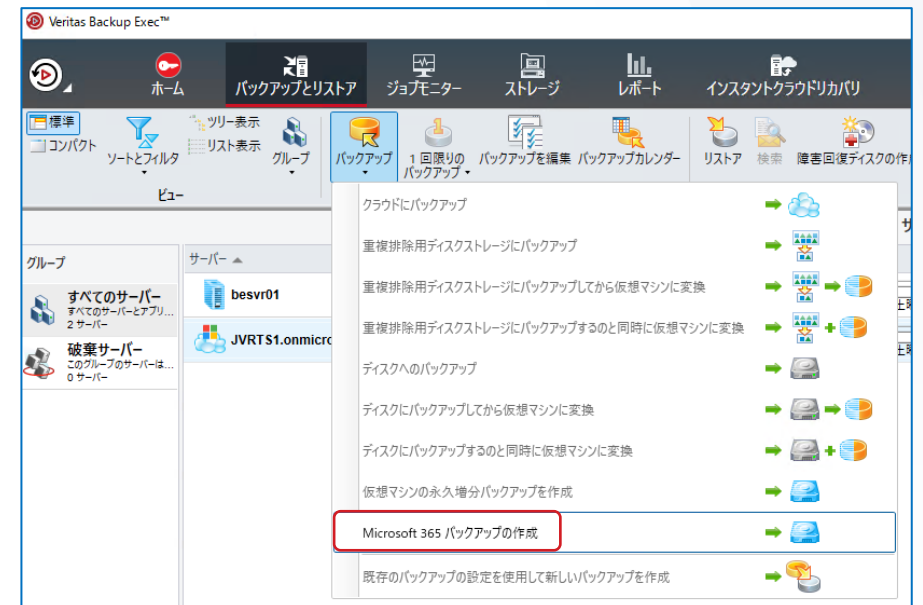
M365のテナントがサーバー一覧に追加されたことが確認できます。

- テナントを追加するにあたって、Backup ExecはOpen Authorization (OAuth 2.0)を使用しています。所有者の代わりにリソースへのアクセスを許可するためのプロトコルです。許可がおりると、証明書が発行されて、M365のポータルへの接続/認証できるようになり、バックアップとリストアに必要なデータの読み取り、書き込みが可能となります。
- 証明書はBackup Execサーバに格納され、デフォルトでは証明書の有効期限は2年となっています。有効期限の30日前から毎日警告を発します。証明書はBackup Execの管理コンソールから更新することができます。

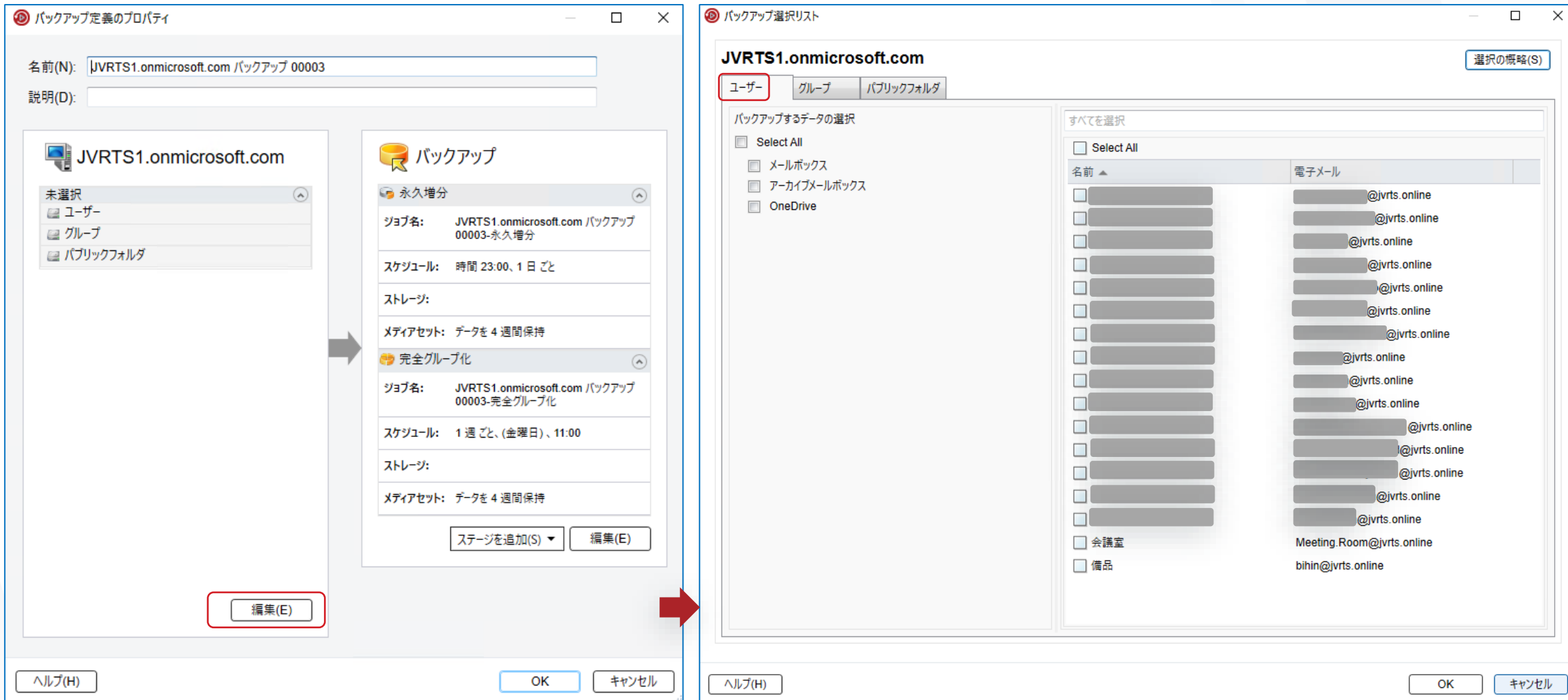
# M365バックアップの作成 (Exchange)



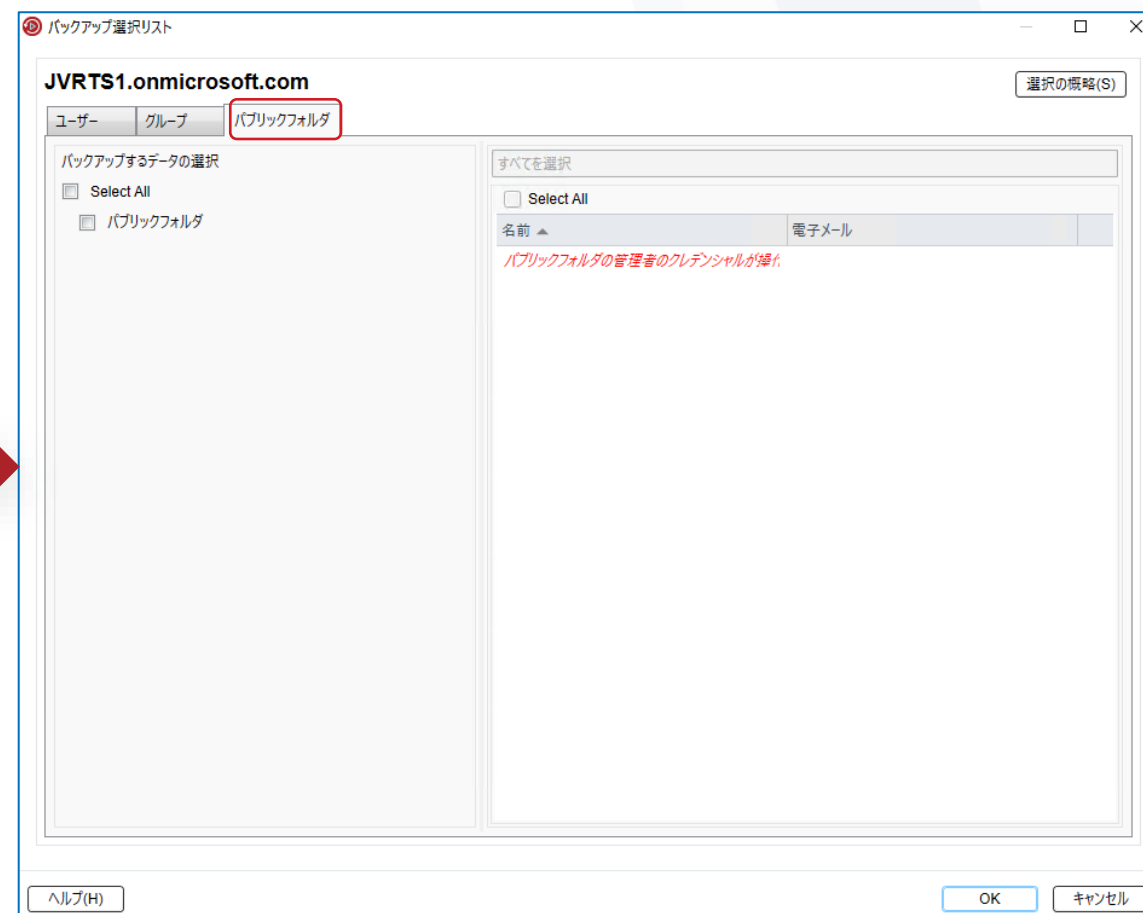
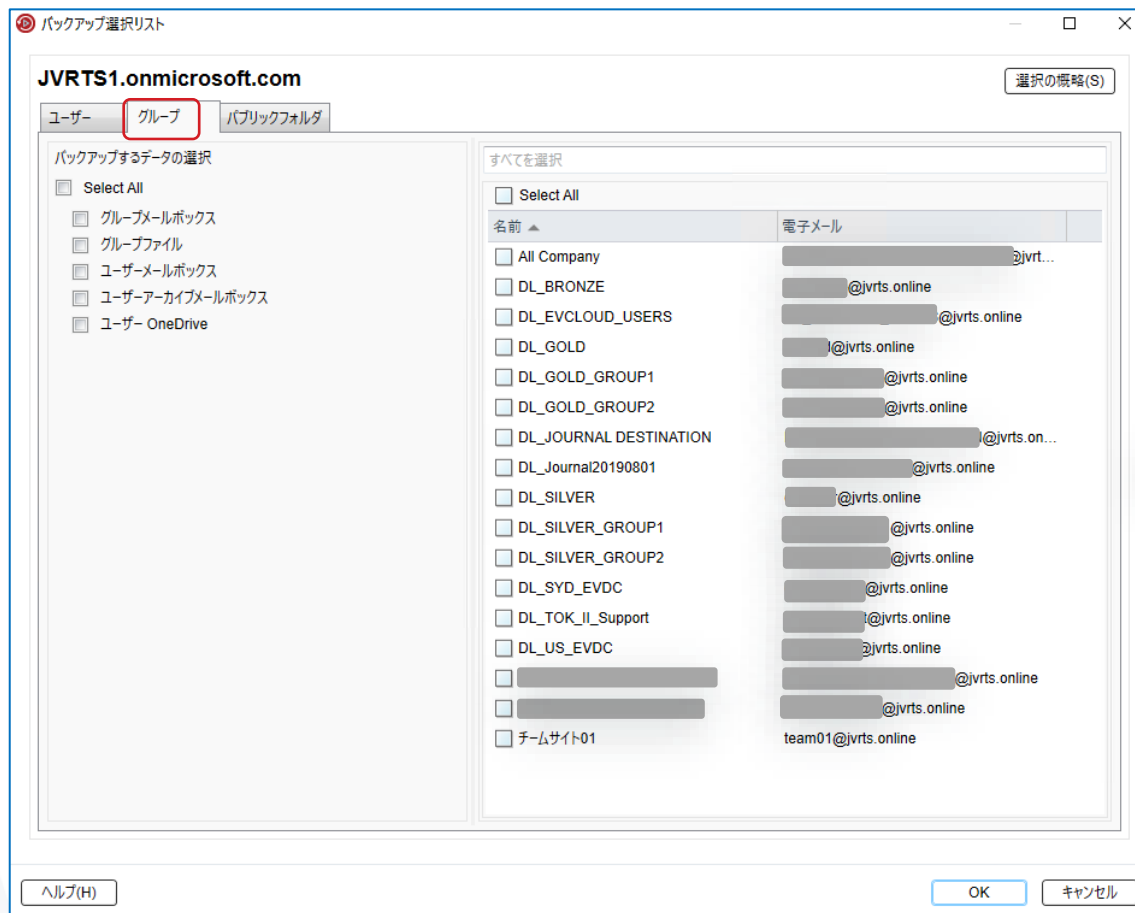
「Microsoft 365バックアップ作成」を選びます。



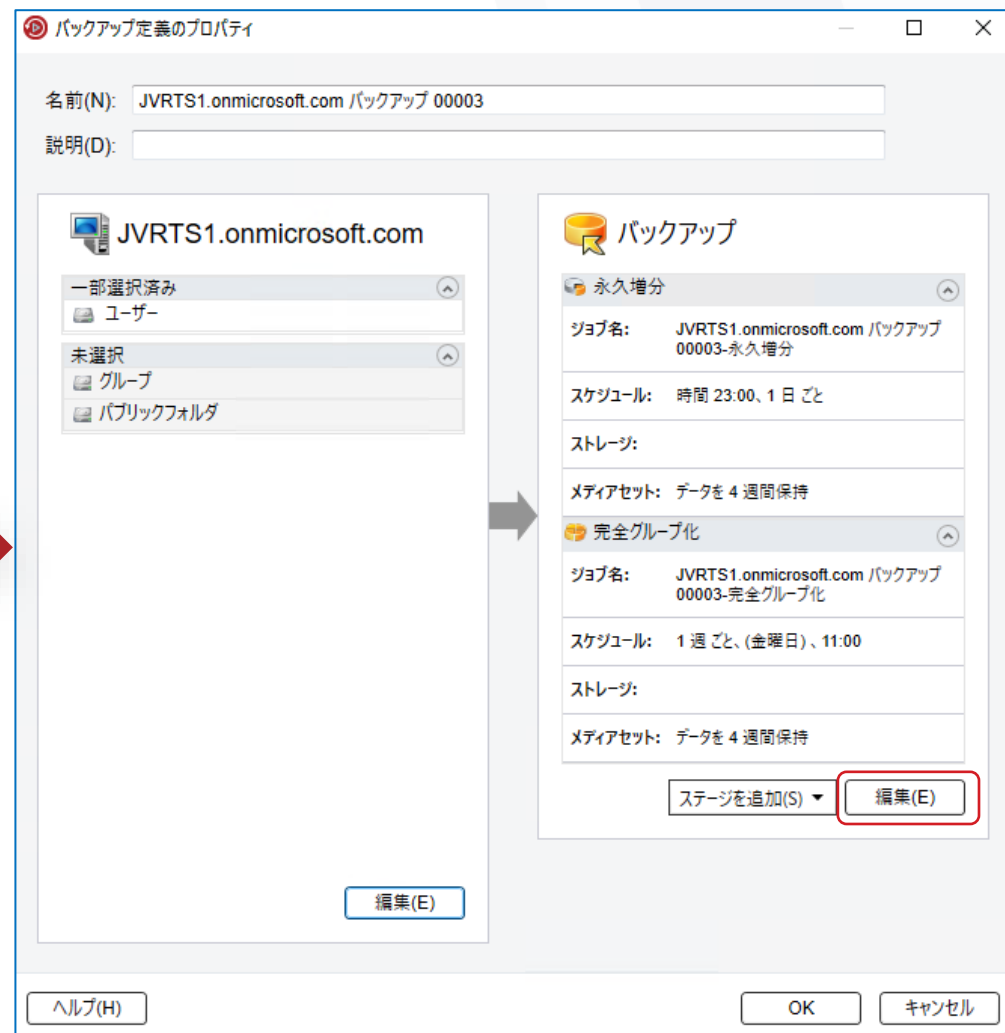
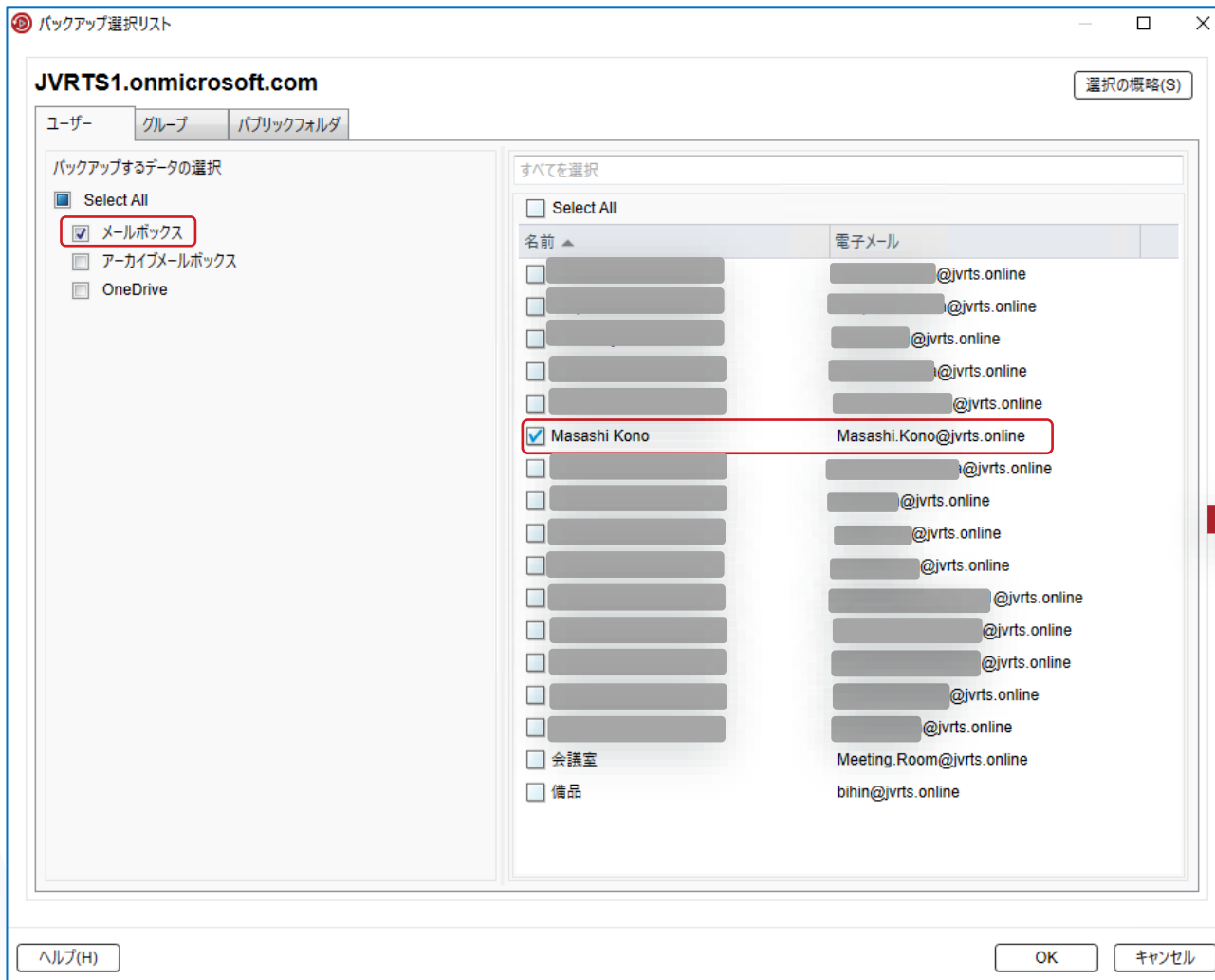
## M365バックアップの作成 (Exchange)



# M365バックアップの作成 (Exchange)



## M365バックアップの作成 (Exchange)



# M365バックアップの作成 (Exchange)

バックアップオプション

スケジュール  
ストレージ  
通知  
テスト実行  
検証  
プリ/ポストコマンド  
Microsoft 365

並列ストリーム

並列ストリーム

バックアップに使用するストリームの適切な数

必要な最小ストリーム数 (この数よりも少ないストリームしか利用できない場合、ジョブは失敗する)

ジョブ設定のオプション

Exchange Online

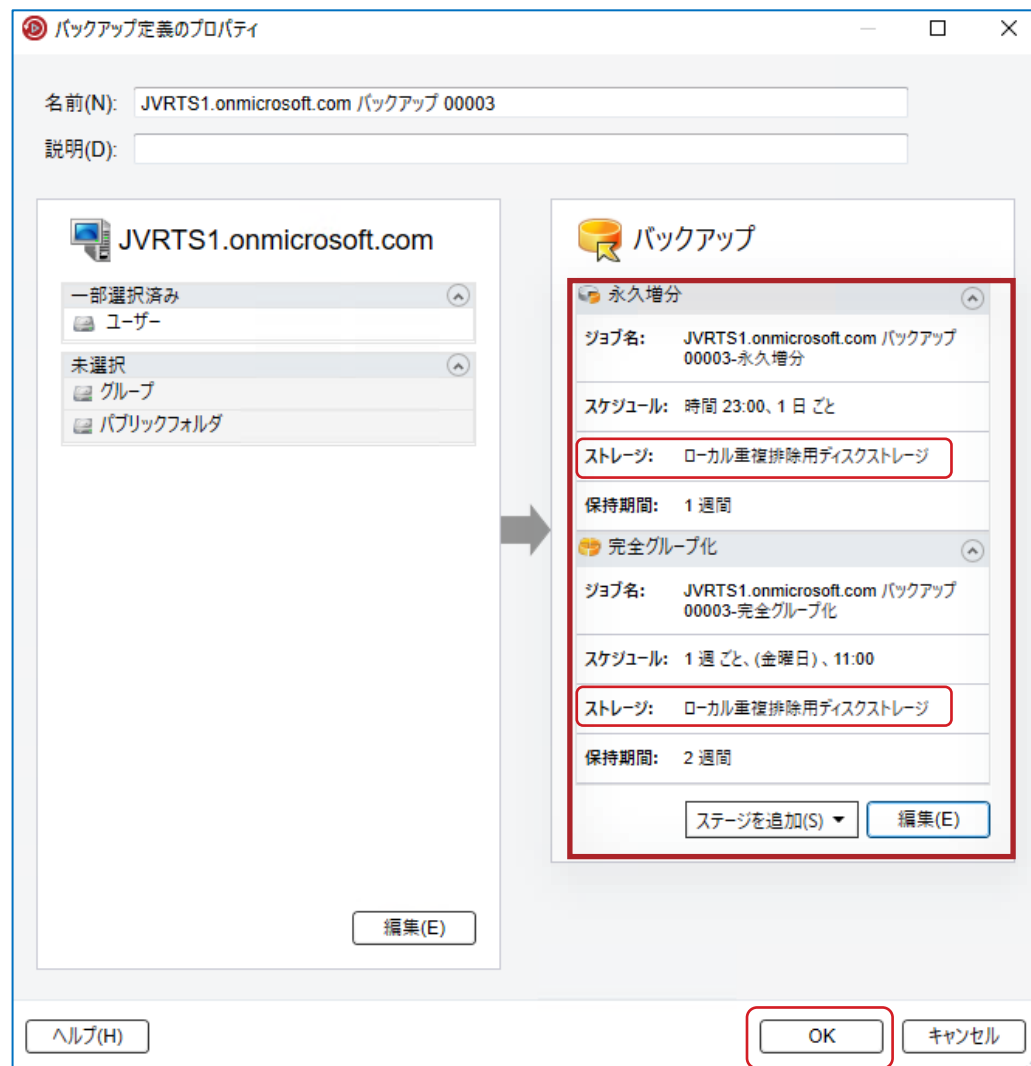
☒ フォルダ関連アイテムの取得

☐ メッセージ既読のプロパティの変更時にアイテムを取得

ヘルプ(H) OK キャンセル

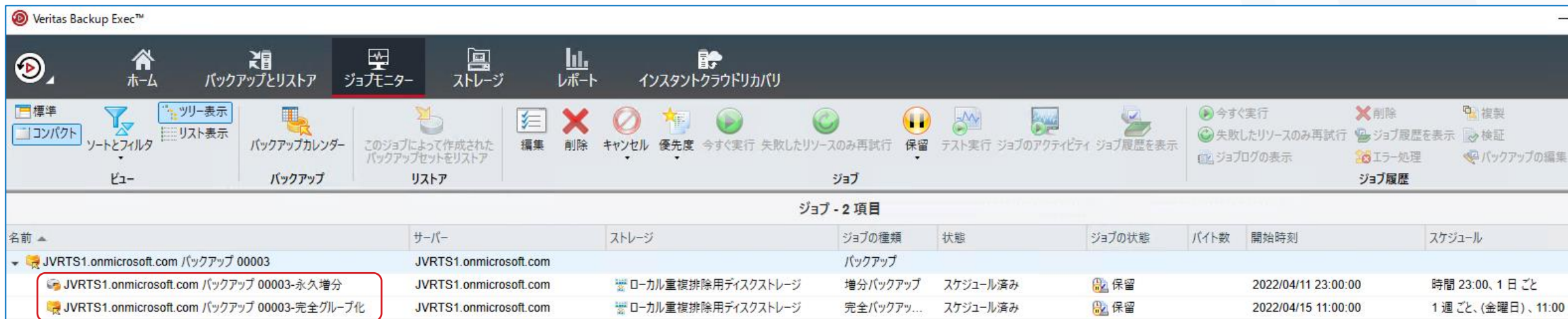
- バックアップに使用するストリームの数を指定することができます。
- デフォルトが10で、通常この値で十分ですが、性能が十分ではない場合、最大32まで設定することが可能です。
- これらの設定に関するガイダンスをまとめたKBを近日中に用意する予定です。準備が整いましたらお知らせします。

# M365バックアップの作成 (Exchange)



- バックアップ方式は「仮想マシンの永久増分バックアップv2方式」を参考にしています。
  - 永久増分バックアップ
  - 完全グループ化
- 「完全グループ化」(統合) では、ポインター情報の移し替え (block cloning) だけで、新たなフルバックアップに統合します。
- Block cloningを使用するためには、ストレージ設定をローカルの重複排除ディスクストレージに揃えておく必要があります。

# M365バックアップの作成 (Exchange)



Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 コンパクト ツリー表示 リスト表示 ソートとフィルタ ビュー

バックアップカレンダー バックアップ

このジョブによって作成されたバックアップセットをリストア リストア

編集 削除 キャンセル 優先度 今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 保留

テスト実行 ジョブのアクティビティ ジョブ履歴を表示

今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 削除 ジョブ履歴を表示 複製 検証

ジョブログの表示 エラー処理 バックアップの編集

ジョブ履歴

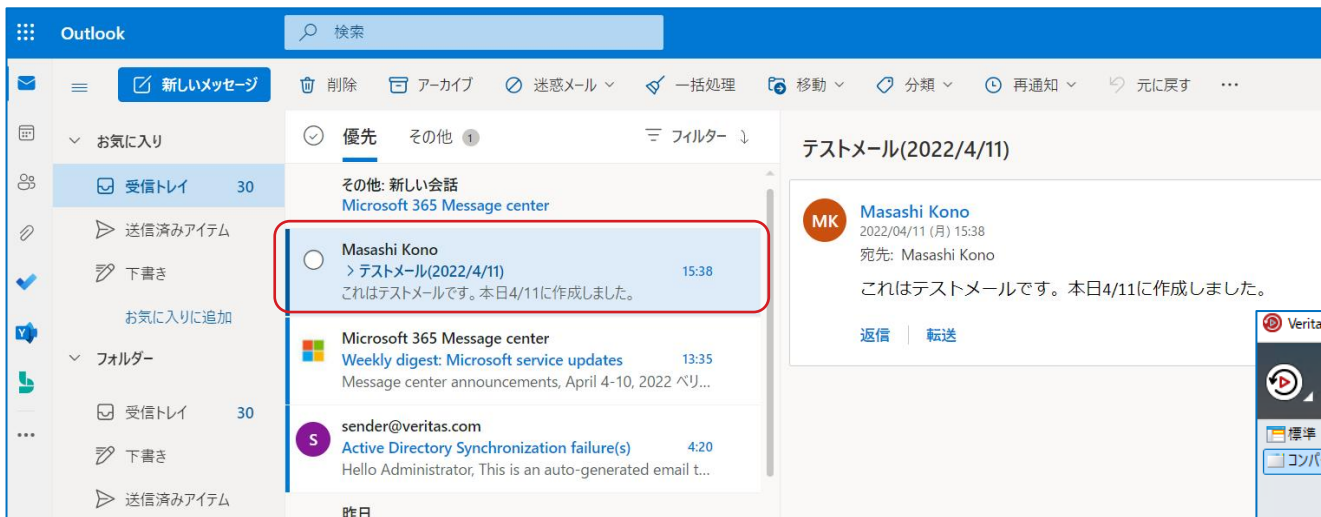
ジョブ - 2 項目

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	状態	ジョブの状態	バイト数	開始時刻	スケジュール
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003	JVRTS1.onmicrosoft.com		バックアップ					
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmicrosoft.com	ローカル重複排除用ディスクストレージ	増分バックアップ	スケジュール済み	保留		2022/04/11 23:00:00	時間 23:00、1 日ごと
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-完全グループ化	JVRTS1.onmicrosoft.com	ローカル重複排除用ディスクストレージ	完全バックアップ	スケジュール済み	保留		2022/04/15 11:00:00	1 週ごと、(金曜日)、11:00

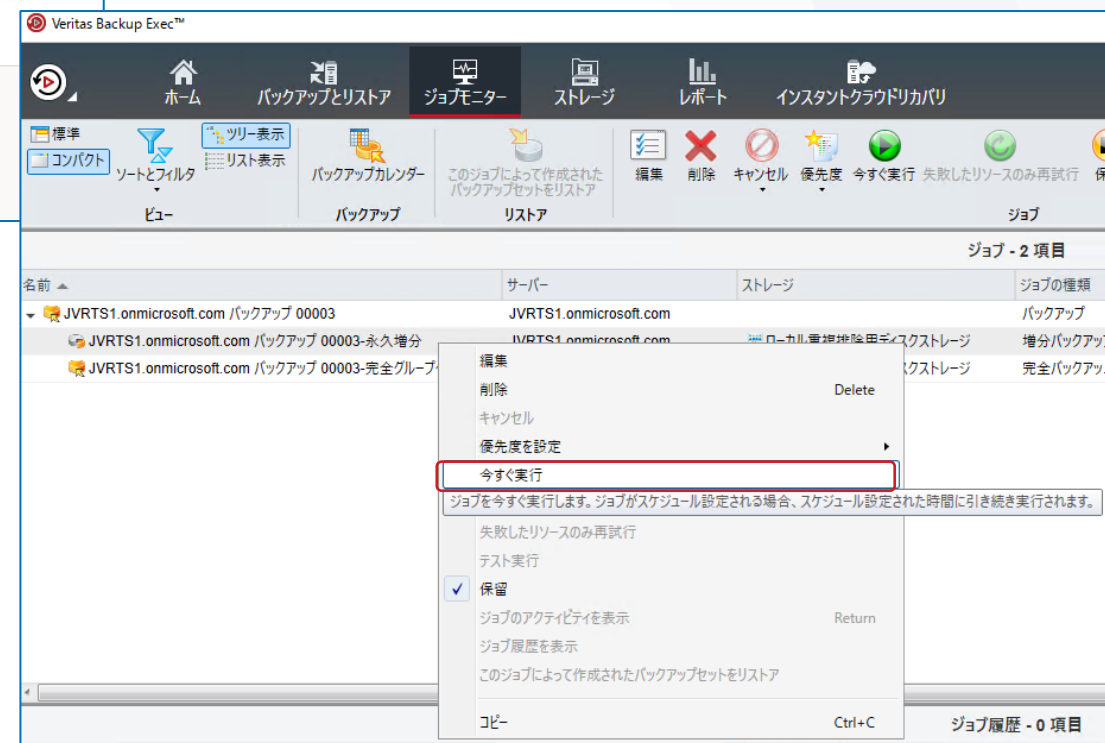
- 「仮想マシンの永久増分バックアップ」と同じバックアップテンプレートが使われています。

# M365バックアップの実行 (Exchange)

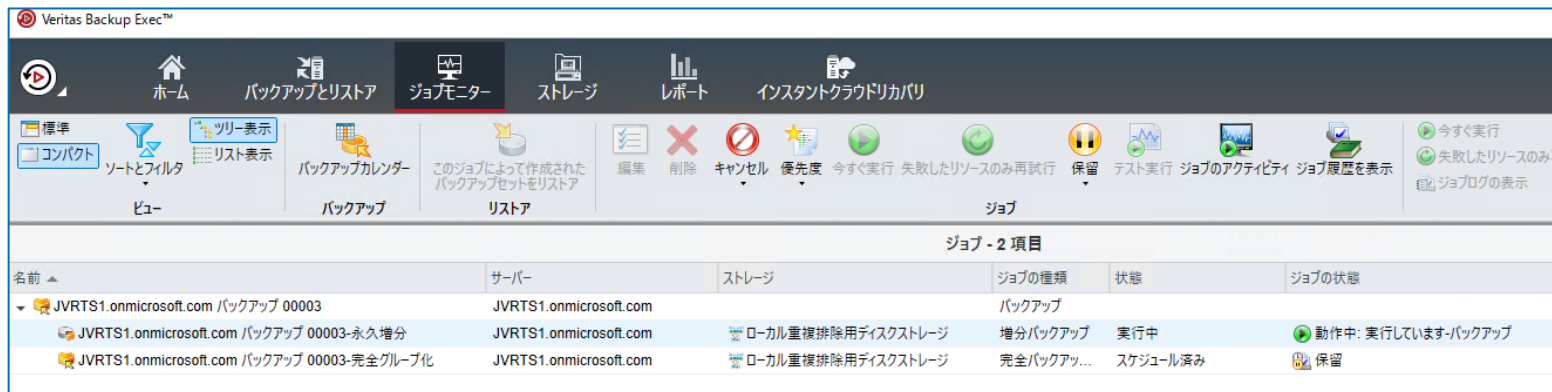
outlook



- テストメールが含まれた状態でバックアップを取ります。
- 一番最初のバックアップはフルバックアップです。



# M365バックアップの実行 (Exchange)



Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 コンパクト ツリー表示 リスト表示

バックアップカレンダー このジョブによって作成されたバックアップセットをリストア

編集 削除 キャンセル 優先度 今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 保留 テスト実行 ジョブのアクティビティ ジョブ履歴を表示

今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 ジョブログの表示

ジョブ - 2 項目

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	状態	ジョブの状態
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003	JVRTS1.onmicrosoft.com		バックアップ		
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmicrosoft.com	ローカル重複排除用ディスクストレージ	増分バックアップ	実行中	動作中: 実行しています-バックアップ
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-完全グループ化	JVRTS1.onmicrosoft.com	ローカル重複排除用ディスクストレージ	完全バックアップ	スケジュール済み	保留

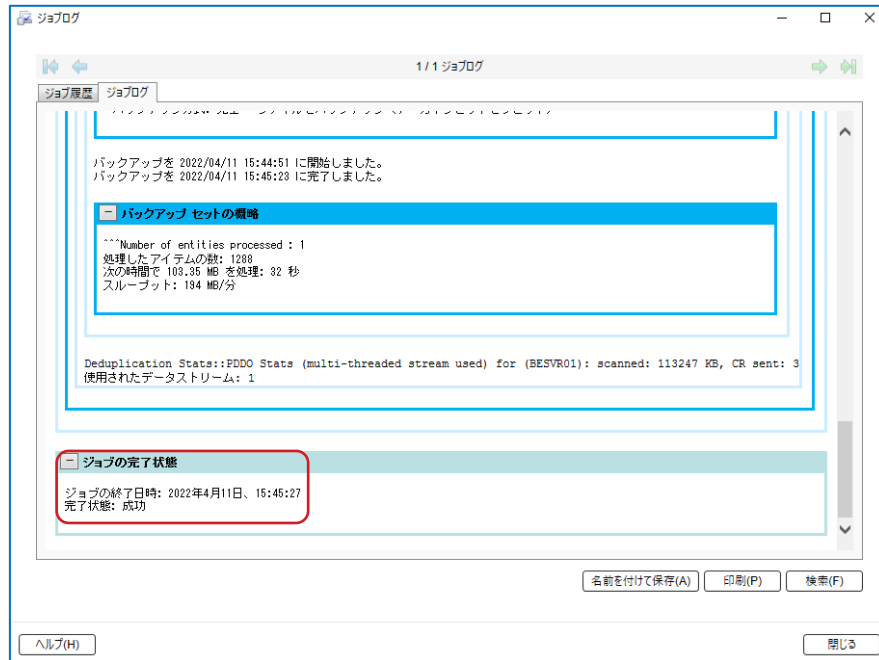


ジョブ履歴 - 1 項目

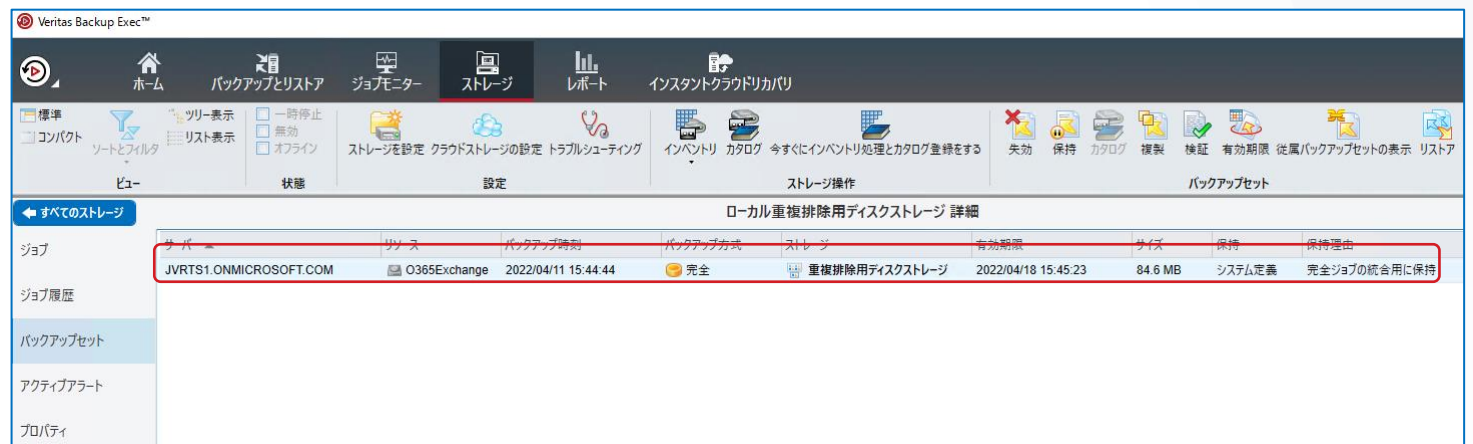
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 15...	2022/04/11 15...	00:01:45	103 MB	193.00 MB/分

- 無事にバックアップが完了すると、このように表示されます。

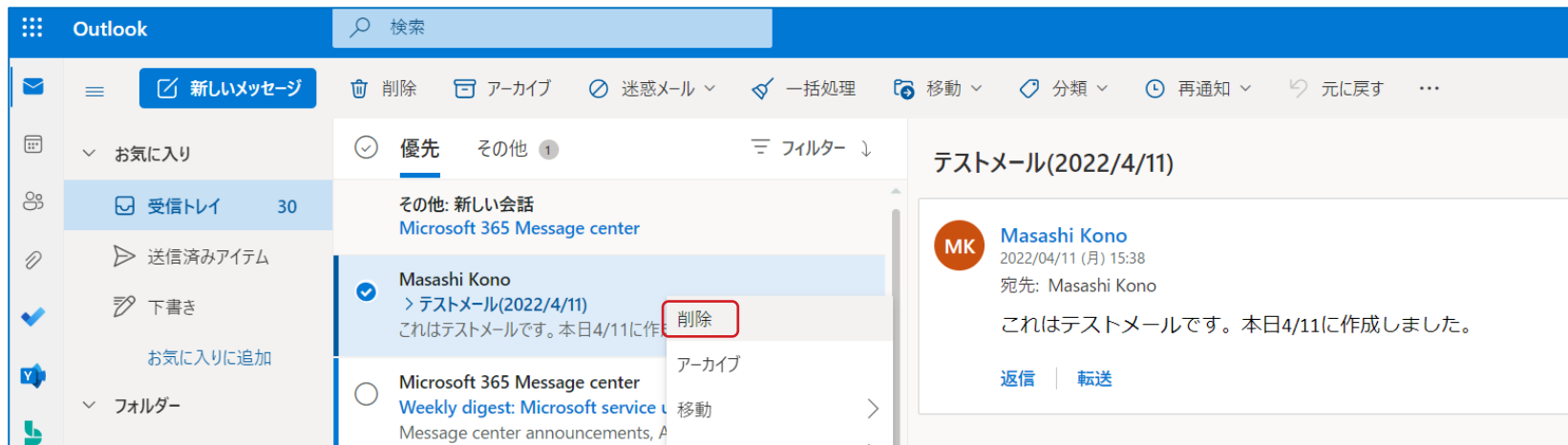
# M365バックアップの実行 (Exchange)



- ジョブログと重複排除ディスクストレージに格納されたバックアップセットの状態です。



# M365バックアップの実行 (Exchange)



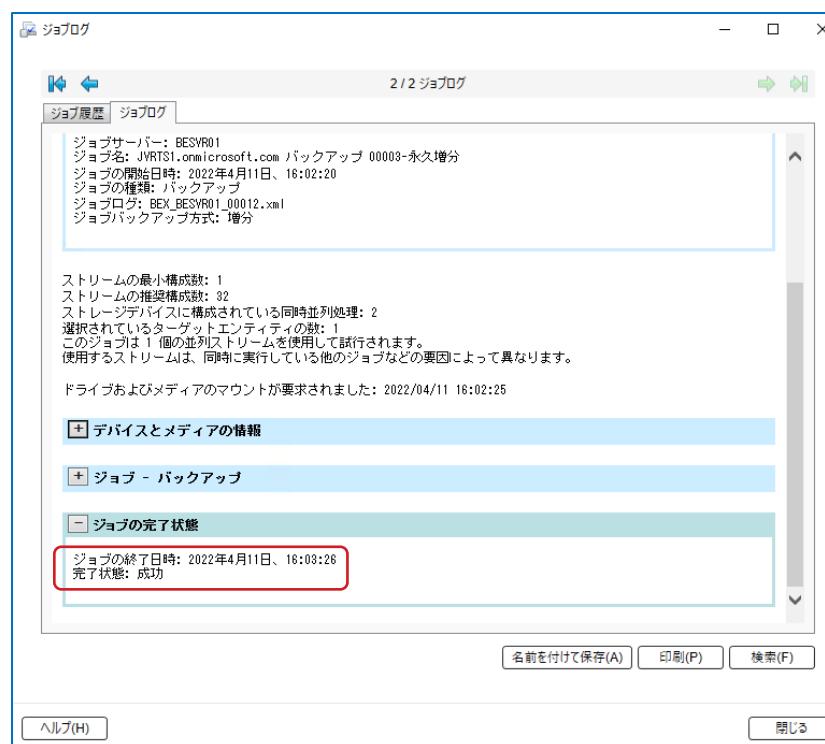
- 先ほどのテストメールを削除してみます。



- この状態でもう一度バックアップをとります。
- 今度は増分バックアップです。

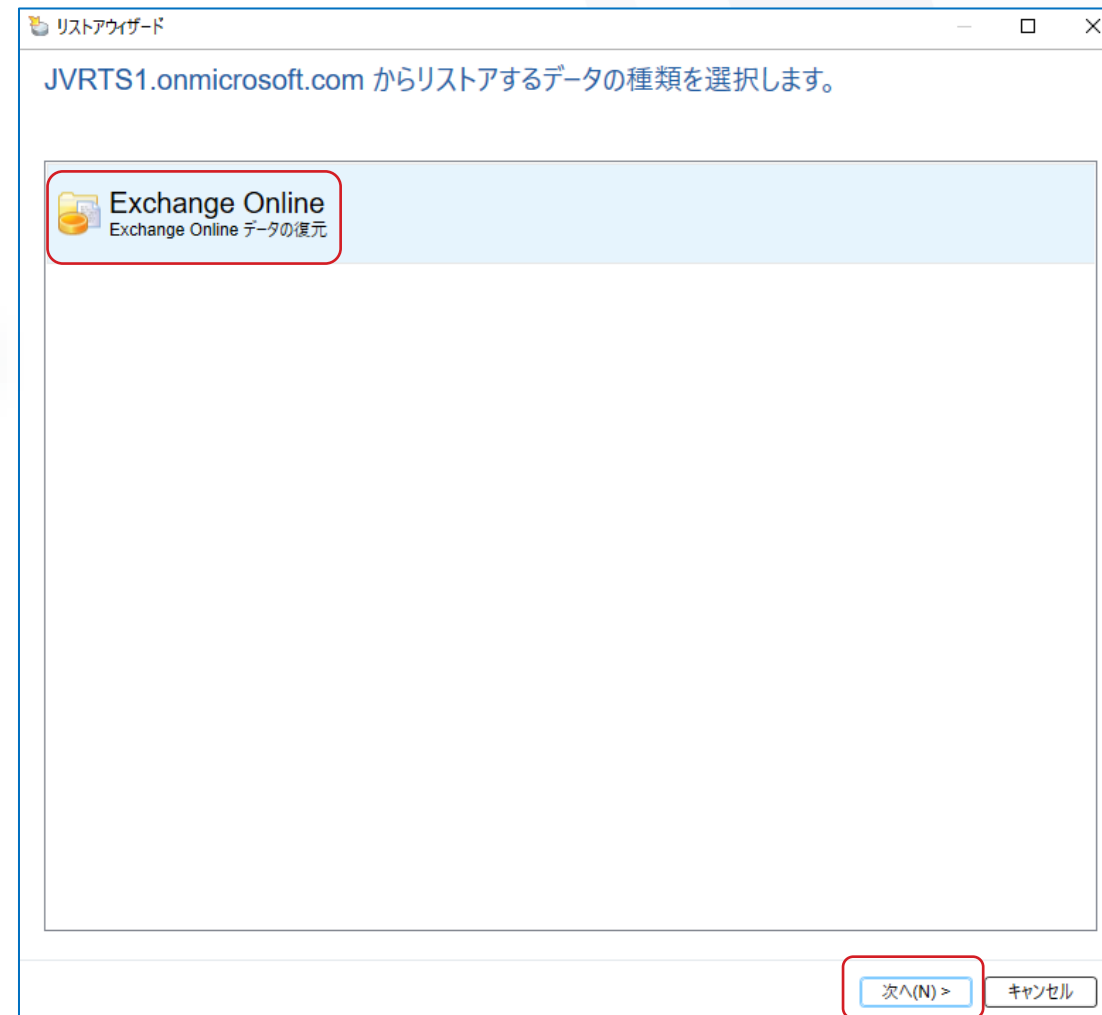
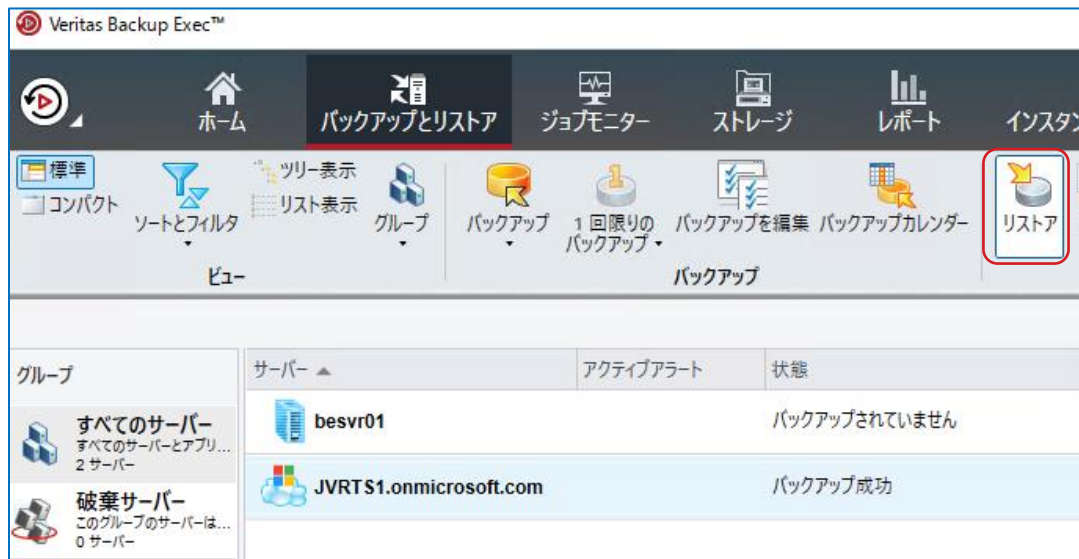
# M365バックアップの実行 (Exchange)

ジョブ履歴 - 2 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 16...	2022/04/11 16...	00:01:06	44.3 KB	0.00 MB/分
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 15...	2022/04/11 15...	00:01:45	103 MB	193.00 MB/分



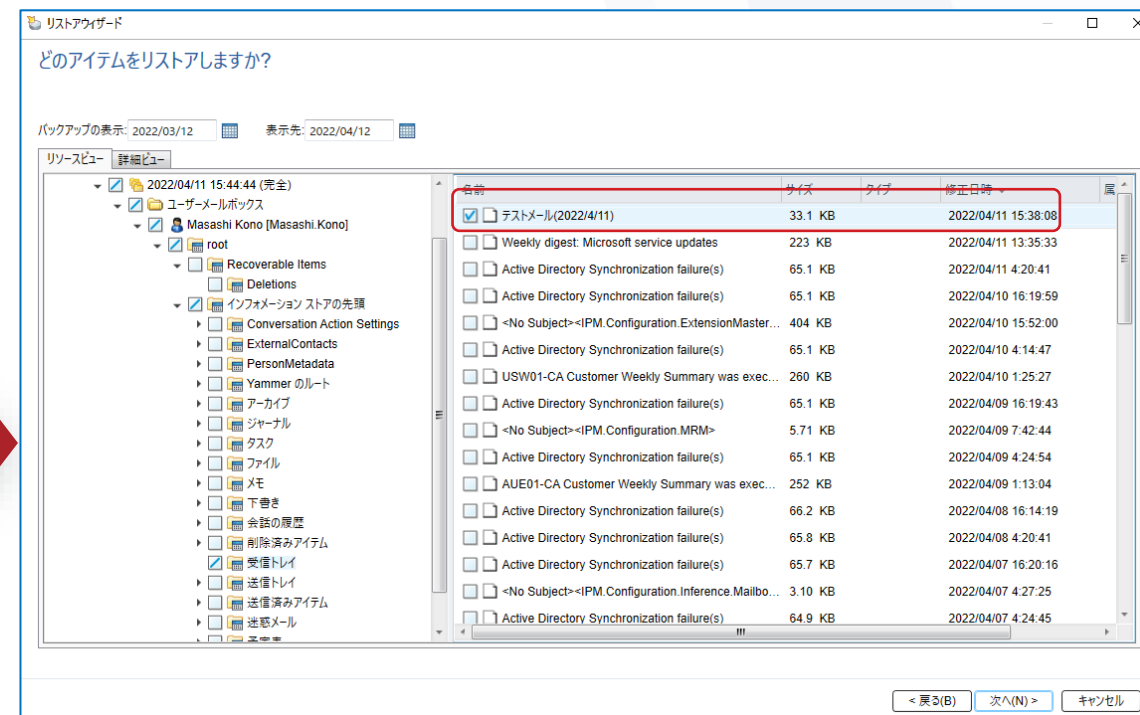
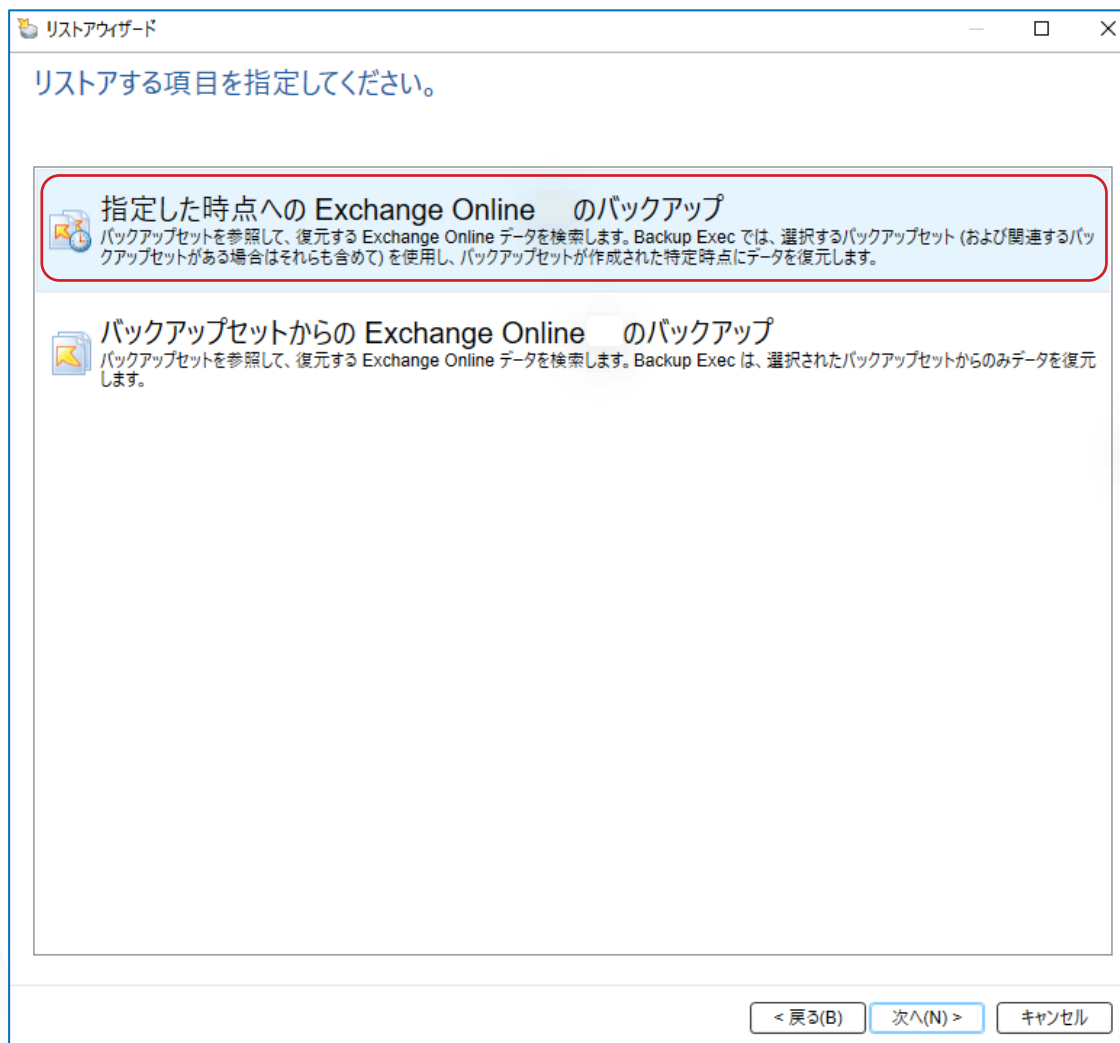
- 無事にバックアップが完了すると、このように表示されます。

# M365のリストア (Exchange)



- 先ほど削除したテストメールをリストアしてみます。

# M365のリストア (Exchange)



- 最初のフルバックアップを取得した時点のバックアップを選びます。
- 「テストメール」を選択します。

# M365のリストア（Exchange）

リストアウィザード

データのリストア先を指定してください。

上書きオプション 存在する場合はスキップ

リストアに使用する並列ストリームの推奨数(N): 1

リストアオプション

☒ 同じメールボックスへのリストア

カスタムパス (オプション)

Inbox/Destination

グループメールボックスはカスタムのサブフォルダへのリストアをサポートしません。

パブリックフォルダでは、リダイレクト先へのリストアはサポートされません。元の場所のみリストアできます。

☐ 異なるメールボックスへのリストア

宛先のメールボックスのアドレス

abo@test.com

宛先のメールボックスの種類

ユーザーメールボックス

カスタムパス (オプション)

Inbox/Destination

☐ アイテムのリストアの権限

ソースと宛先のメールボックスの種類が異なる場合、グループメールボックスが宛先でない限り、宛先のカスタムパスが必要です。

どのリストアオプションを選択する必要がありますか?

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

## リストアオプション

- 元のメールボックス、異なるメールボックスにリストアすることができます。

# M365のリストア（Exchange）

リストアウィザード

リストアの前後に実行する追加タスクを指定してください。

☐ リストアの前や後にコマンドを実行する(H)

リストア前に実行するコマンドを入力(O):

リストア後に実行するコマンドを入力(A):

☐ コマンドが正常に完了したかどうかを判断するために、Backup Exec でコマンドの終了コードを確認する(L)

☒ プリコマンドが正しく実行された場合にのみジョブを実行する(R)

☒ プリコマンドが正しく実行された場合にのみポストコマンドを実行する(U)

☒ ジョブが失敗した場合でもポストコマンドを実行する(V)

コマンドが完了しない場合にコマンドをキャンセルする時間 コマンド実行後(C)  分

コマンドを実行するコンピューター:

☐ この Backup Exec サーバー(T)

☒ リストア先の各サーバー(E)

通知

ジョブの完了通知の受信者を選択してください。

受信者の名前	受信者の種類
<div>受信者を管理(M)</div> <div>プロパティ(P)</div>	

☐ 電子メール通知にジョブログを含める(I)

追加タスク用に選択するオプションを指定してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

リストアウィザード

使用するジョブ名とスケジュールを指定してください。

名前(A):

スケジュール:

☒ 今すぐ実行(W)

☐ 次の時点で実行(O):

☐ スケジュールを設定せずに作成(I)

オプション

スケジュールキュー

予定開始時刻から次の期間移動されないジョブを再スケジュールする:  時間

☐ 予定開始時刻から次の期間経過しても実行しているジョブはキャンセルする(F):  時間

☐ 保留にする(U)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- リストア前後に実行するタスクや、スケジュール指定は従来と変わっていません。

# M365のリストア (Exchange)

リストアウィザード

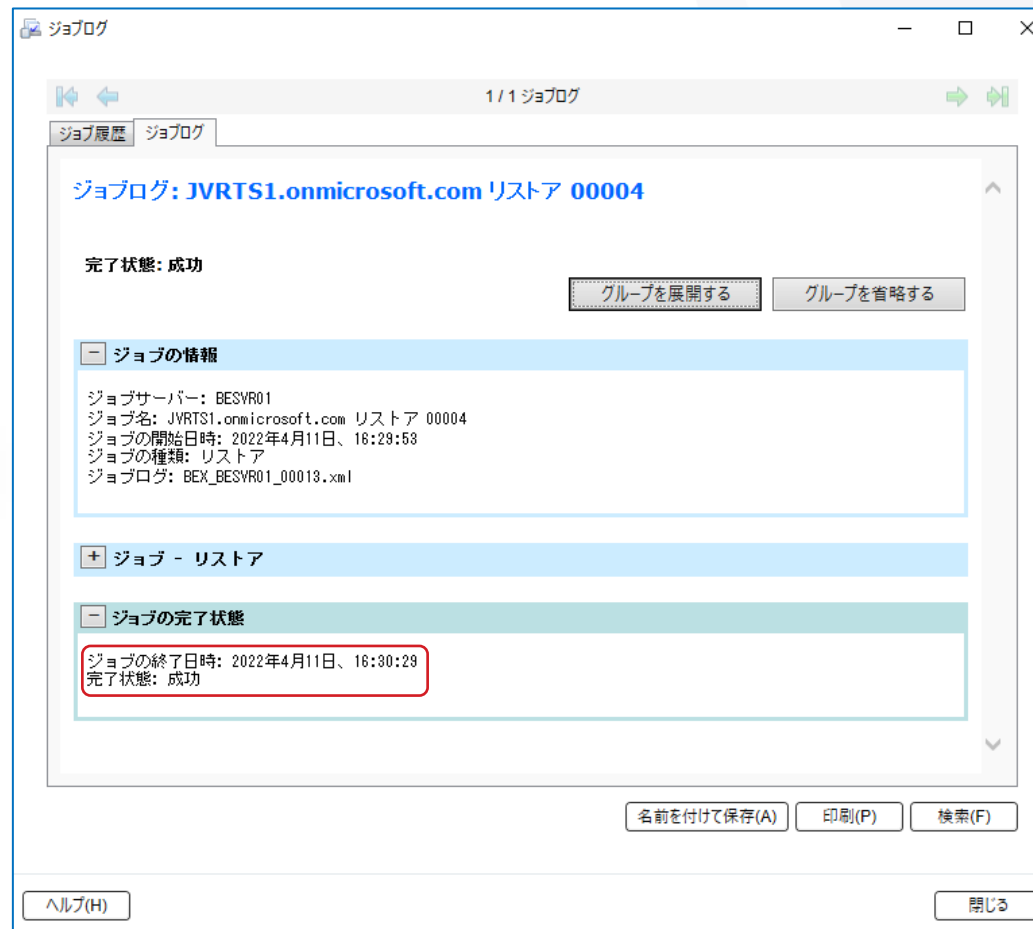
## リストアの概略

リストアするデータ	
リストア:	指定した時点への Exchange Online 個のバックアップ
データの種類	
タイプ:	指定した時点への Exchange Online 個のバックアップ
選択リスト	
JVRTS1.ONMICROSOFT.COM Exchange Online 次を含む - ユーザーメールボックス\Masashi Kono [Masashi.Kono]\root\インフォメーション スタアの先頭\受信トレイ\テストメール(2022/4/11)	
リストア先の場所	
上書きオプション	存在する場合はスキップ
リストアオプション	同じメールボックスへのリストア
カスタムパス	
追加タスク	
プリコマンドとポストコマンド:	プリコマンドまたはポストコマンドは未設定
通知:	ジョブ完了時に通知する受信者は未選択
ジョブ名とスケジュール	
名前:	JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00004
スケジュール:	今すぐ実行
保留にする:	いいえ

< 戻る(B) **完了(F)** キャンセル

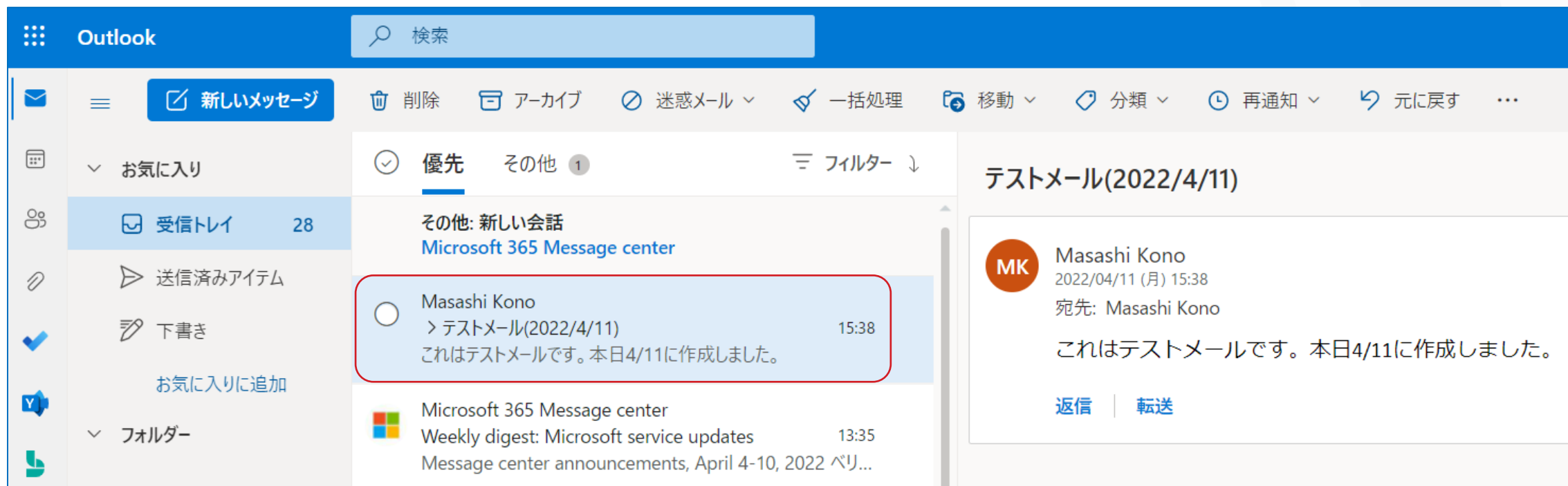
- 最後に概略を確認して、問題がなければ「完了」をクリックします。

# M365のリストア (Exchange)



- リストアが開始されて、完了するとこのように表示されます。

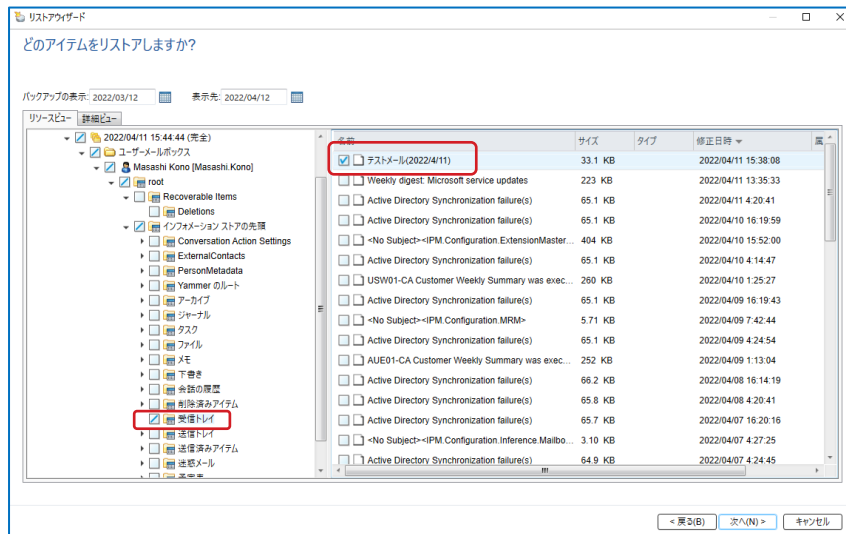
# M365のリストア (Exchange)



- 削除したメールがリストアされていることが確認できます

# 増分バックアップからのリストア

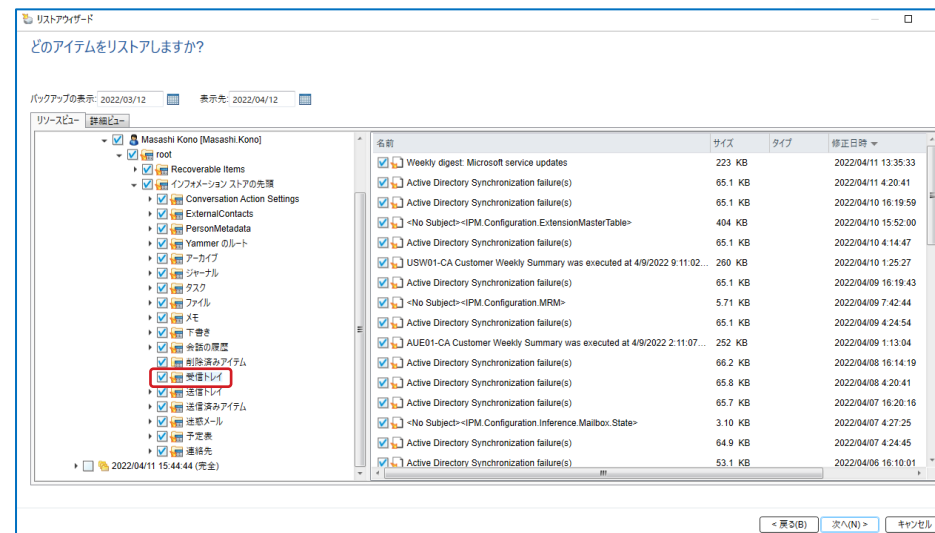
## 最初のフルバックアップ



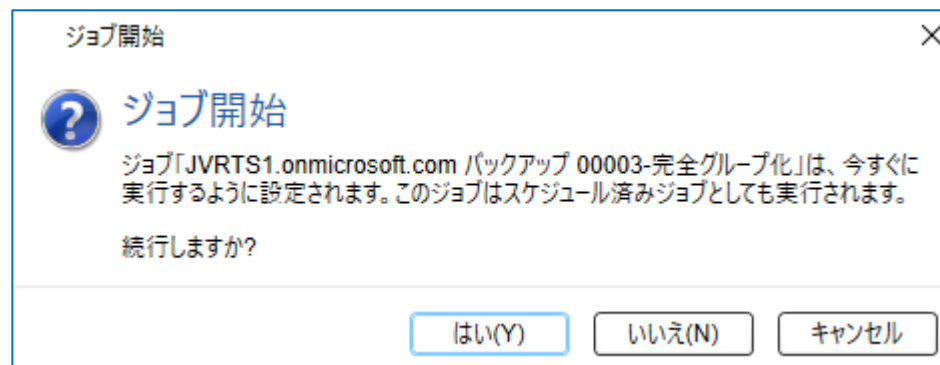
- ちなみに「テストメール」を削除した後に実行した増分バックアップには、「テストメール」が含まれていないことが確認できます。



## 増分バックアップ



# 完全バックアップの統合

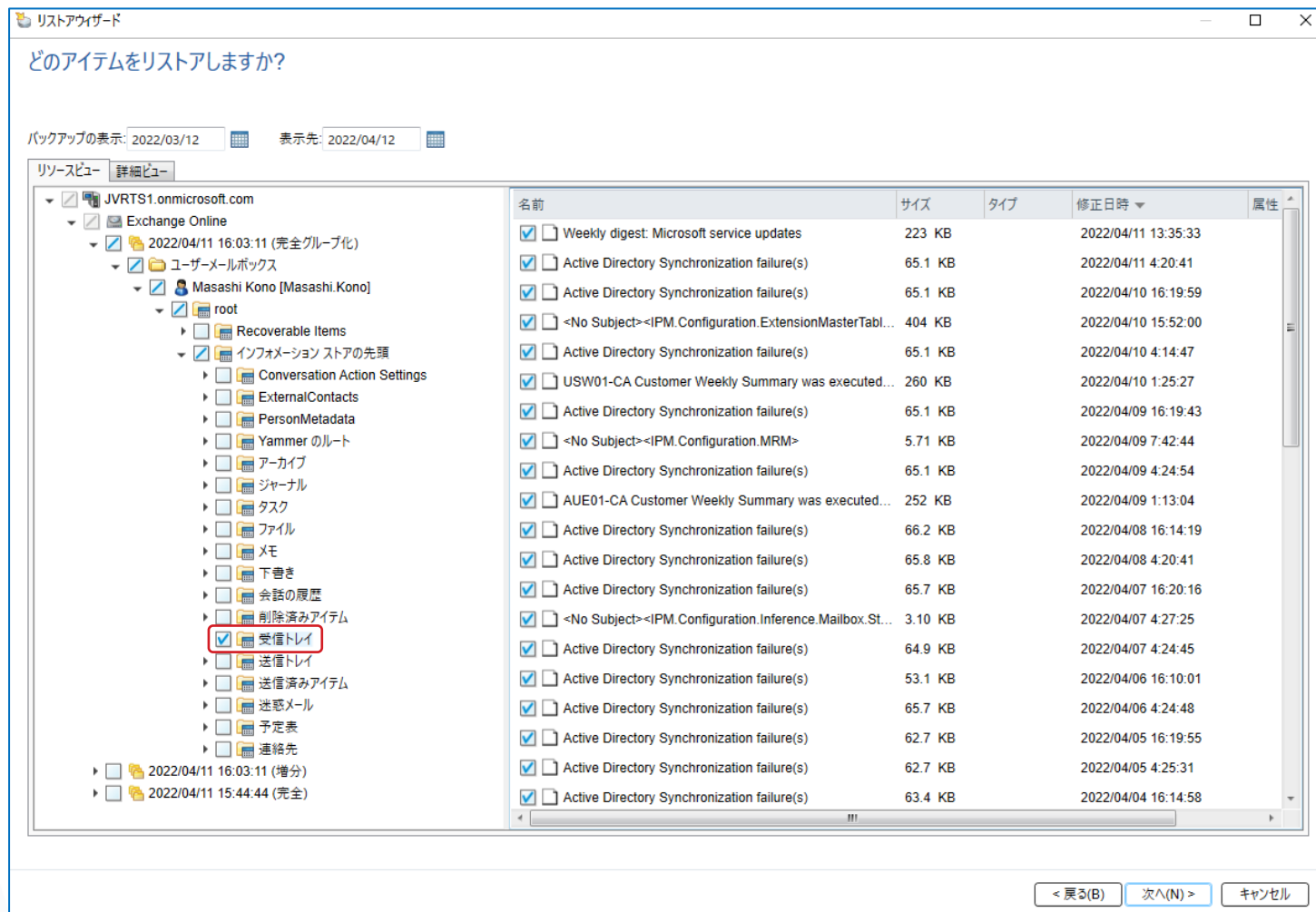


ジョブ履歴 - 5 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00003-完全グループ化	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:2	バックアップ	成功	100%	2022/04/11 17...	2022/04/11 17...	00:00:23	105 MB	895.00 MB/分

ローカル重複排除用ディスクストレージ 詳細									
ジョブ	サーバー ▲	リソース	バックアップ時刻	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	保持理由
	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/25 17:02:55	84.6 MB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
ジョブ履歴	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	増分	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 16:03:23	33.1 KB		
バックアップセット	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 15:44:44	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 15:45:23	84.6 MB		

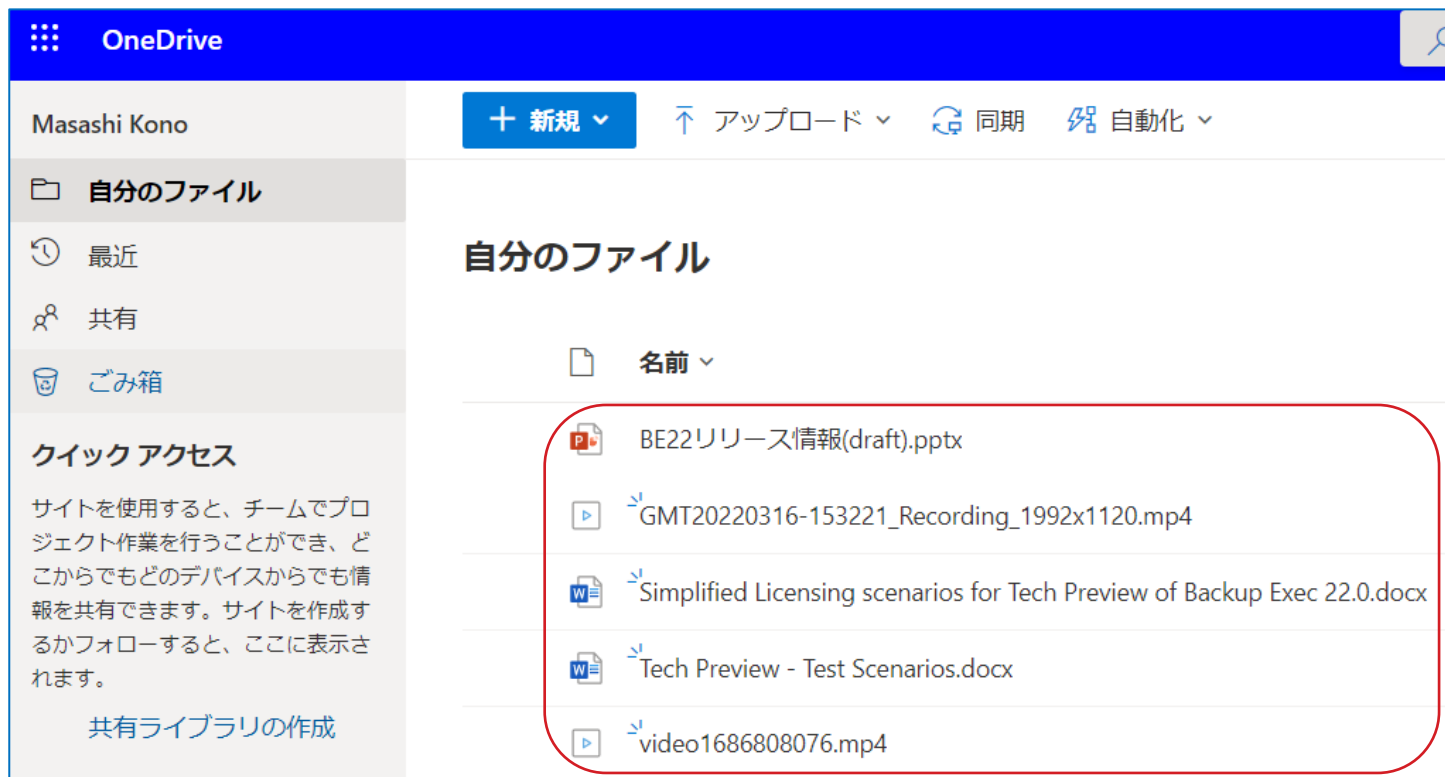
- 完全グループ化（統合）を行うと過去に取得した完全バックアップと増分バックアップを使って、block cloning（ポインター情報のコピー）で高速に新たなフルバックアップを作成します。

# 完全統合バックアップからのリストア

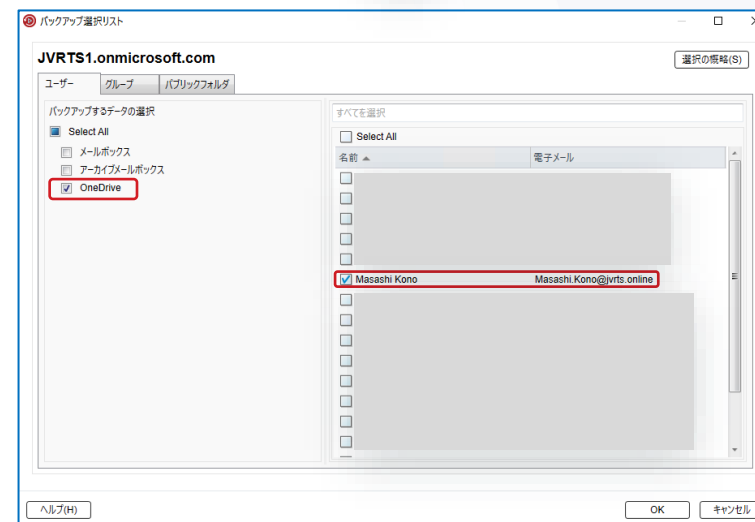
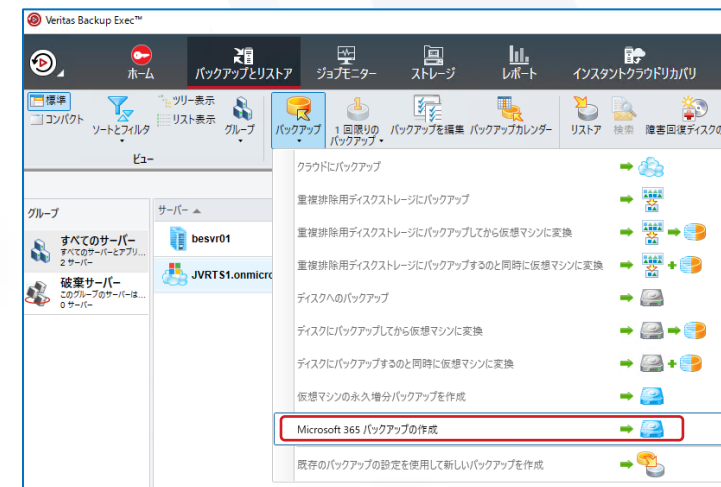


- 完全グループ化（統合したフル）にも「テストメール」が削除されていることが確認できます（増分の段階で削除したため）。

# OneDriveのバックアップ



- OneDriveのバックアップの例をご紹介します。



# OneDriveのバックアップ

- OneDriveのバックアップの保存先に、先ほど作成した重複排除ディスクストレージを設定しておきます。

バックアップ定義のプロパティ

名前(N): JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006

説明(D):

**JVRTS1.onmicrosoft.com**

一部選択済み  
ユーザー

未選択  
グループ  
パブリックフォルダ

**バックアップ**

永久増分

ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-永久増分

スケジュール: 時間 23:00、1 日ごと

ストレージ:

メディアセット: データを 4 週間保持

完全グループ化

ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-完全グループ化

スケジュール: 1 週ごと、(金曜日)、11:00

ストレージ:

メディアセット: データを 4 週間保持

ステージを追加(S) **編集(E)**

編集(E)

ヘルプ(H) OK キャンセル



バックアップ定義のプロパティ

名前(N): JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006

説明(D):

**JVRTS1.onmicrosoft.com**

一部選択済み  
ユーザー

未選択  
グループ  
パブリックフォルダ

**バックアップ**

永久増分

ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-永久増分

スケジュール: 時間 23:00、1 日ごと

ストレージ: **ローカル重複排除用ディスクストレージ**

保持期間: 1 週間

完全グループ化

ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-完全グループ化

スケジュール: 1 週ごと、(金曜日)、11:00

ストレージ: **ローカル重複排除用ディスクストレージ**

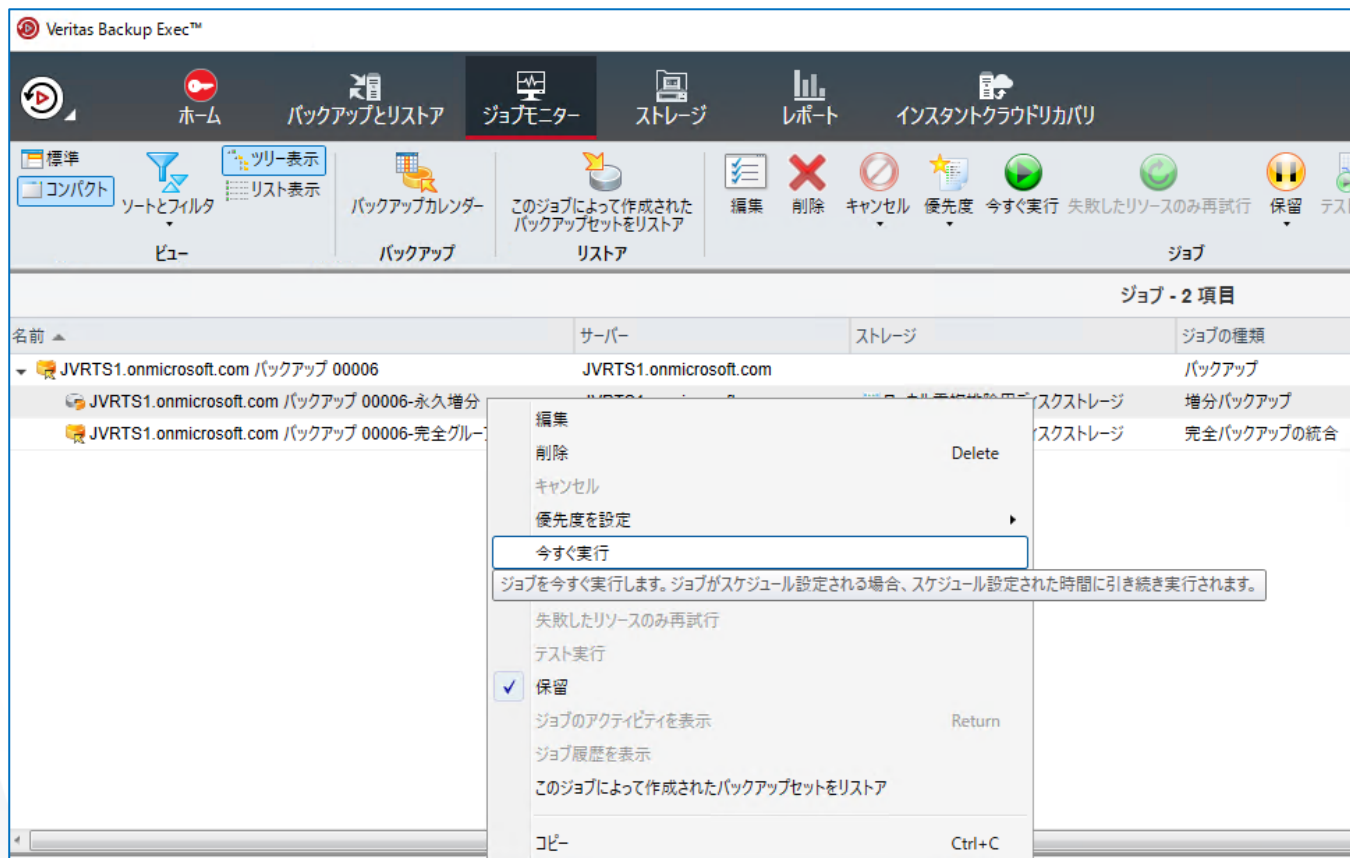
保持期間: 2 週間

ステージを追加(S) **編集(E)**

編集(E)

ヘルプ(H) OK キャンセル

# OneDriveのバックアップ



- ジョブが作成されます。直ちに実行してみます。

# OneDriveのバックアップ

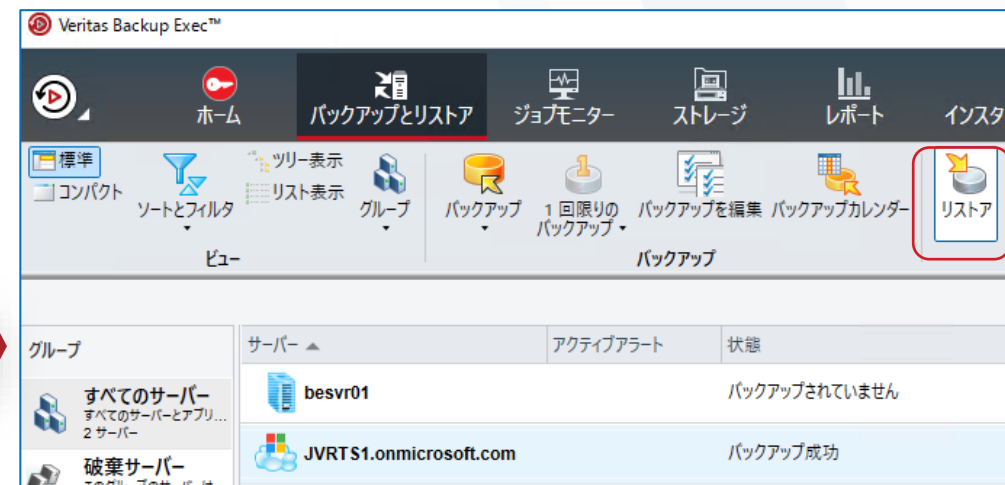
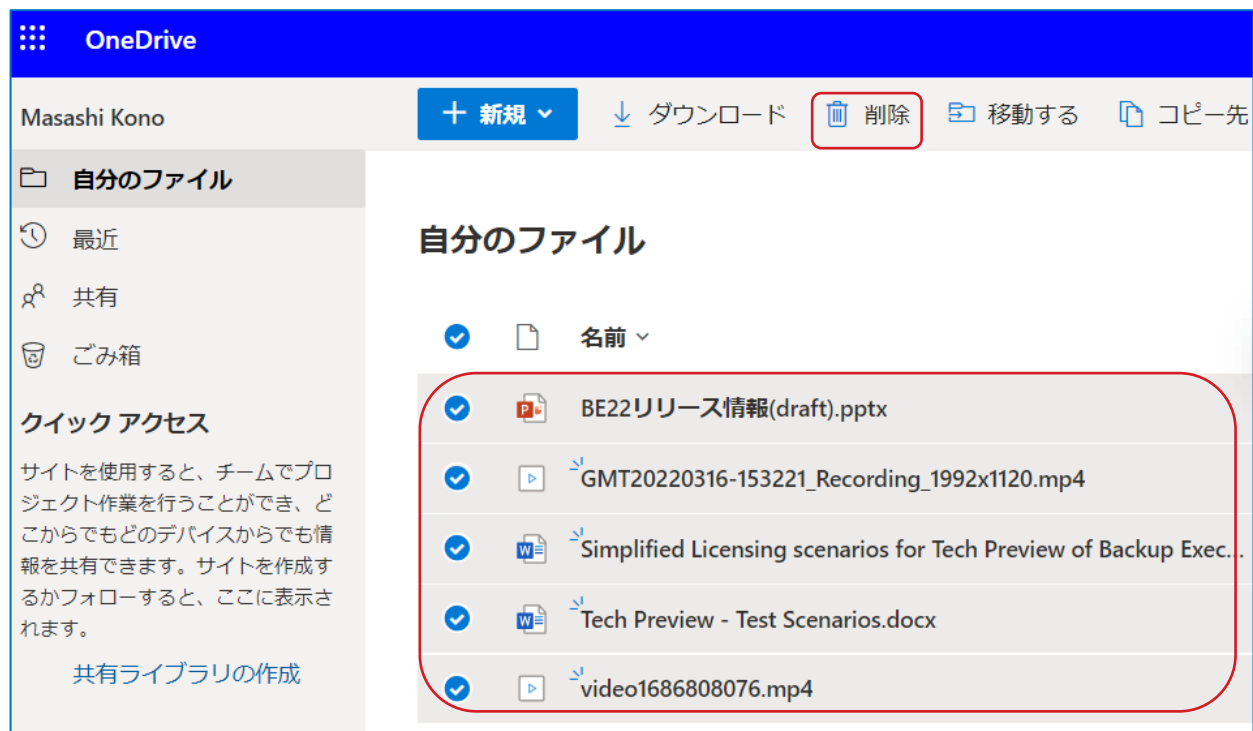
ジョブ履歴 - 6 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻 ▼	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com バックアップ 00006-永久増分	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:1	バックアップ	成功	100%	2022/04/12 13:07:54	2022/04/12 13:09:35	00:01:41	207 MB	388.00 MB/分



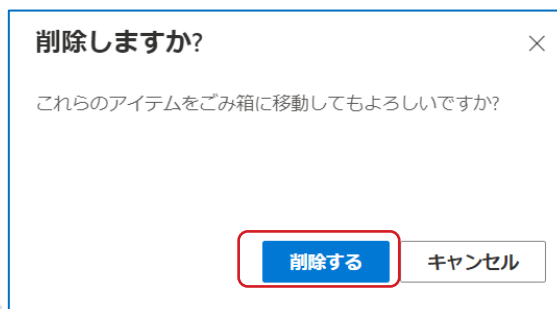
ローカル重複排除用ディスクストレージ 詳細									
ジョブ	サーバー ▲	リソース	バックアップ時刻	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	保持理由
ジョブ履歴	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365OneDrive	2022/04/12 13:08:53	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/19 13:09:32	207 MB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/25 17:02:55	84.6 MB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持
	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 16:03:11	増分	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 16:03:23	33.1 KB		
バックアップセット	JVRTS1.ONMICROSOFT.COM	O365Exchange	2022/04/11 15:44:44	完全	重複排除用ディスクストレージ	2022/04/18 15:45:23	84.6 MB		

- バックアップが完了するとこのように表示されます。

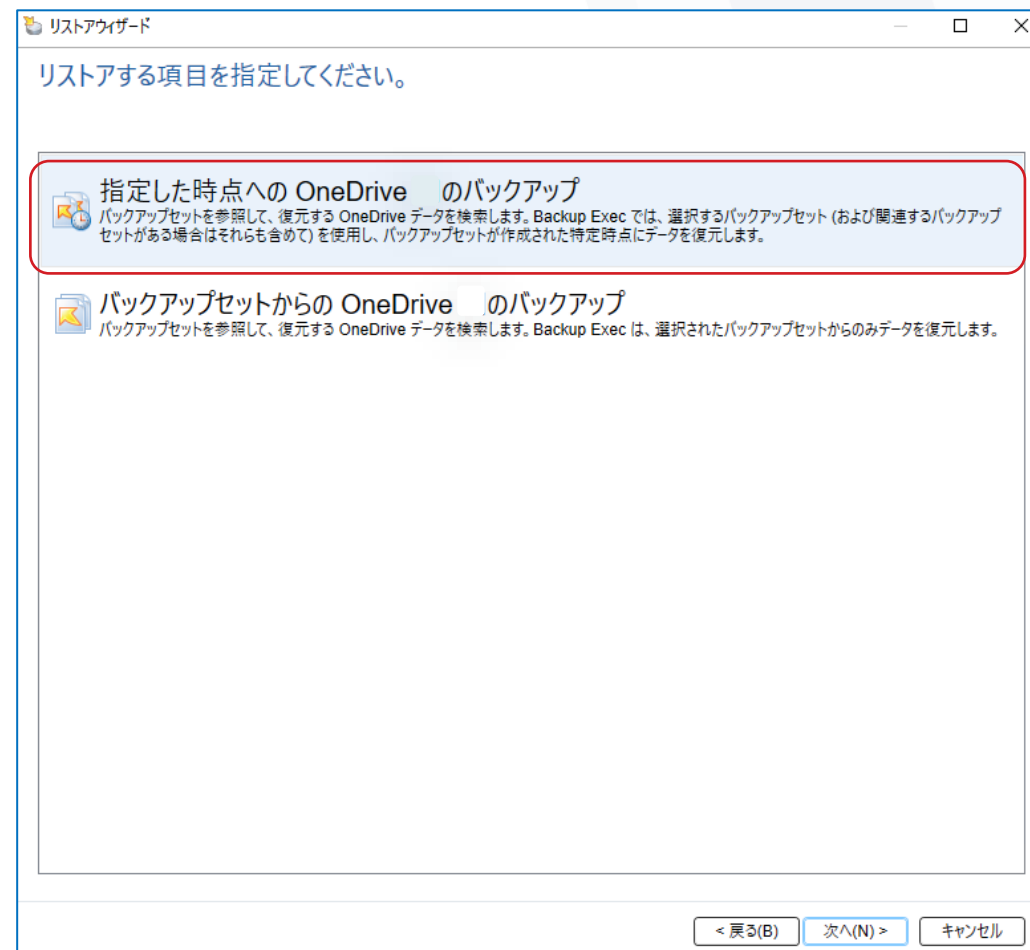
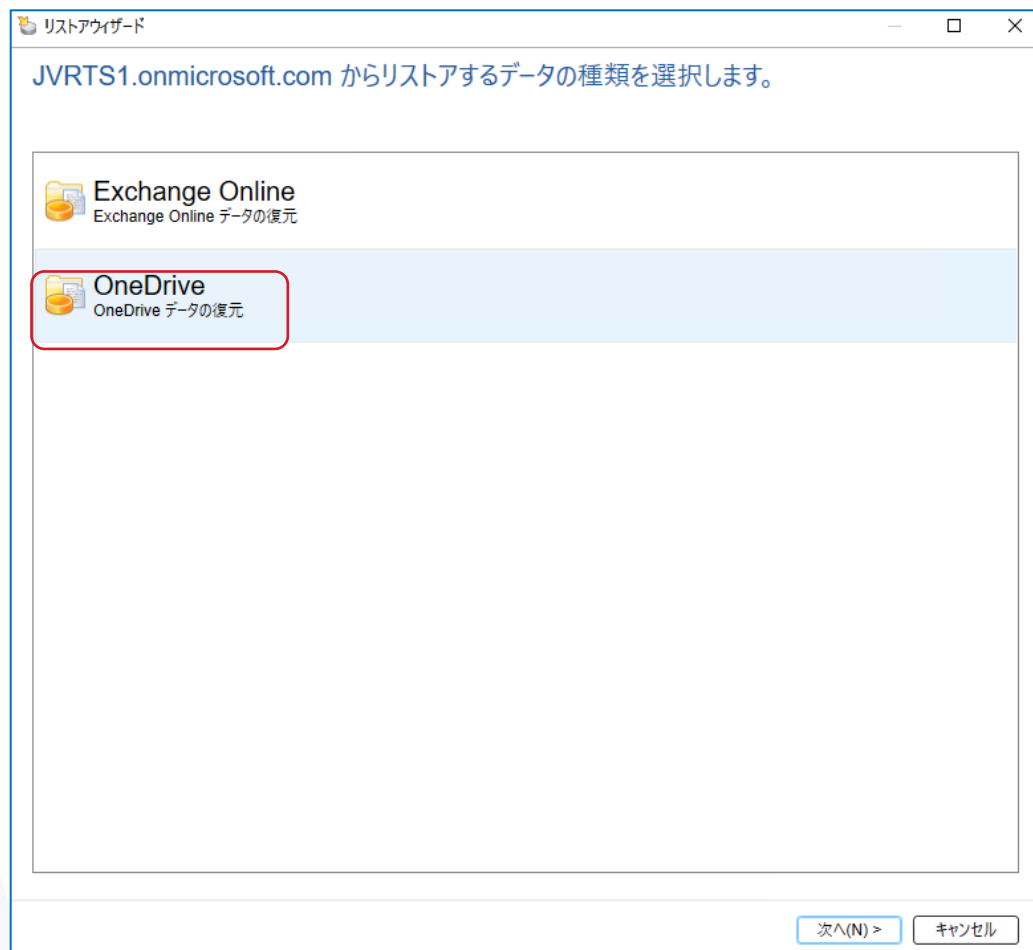
# OneDriveのリストア



- リストアを行いますので、その前にOneDrive上のファイルを削除します。

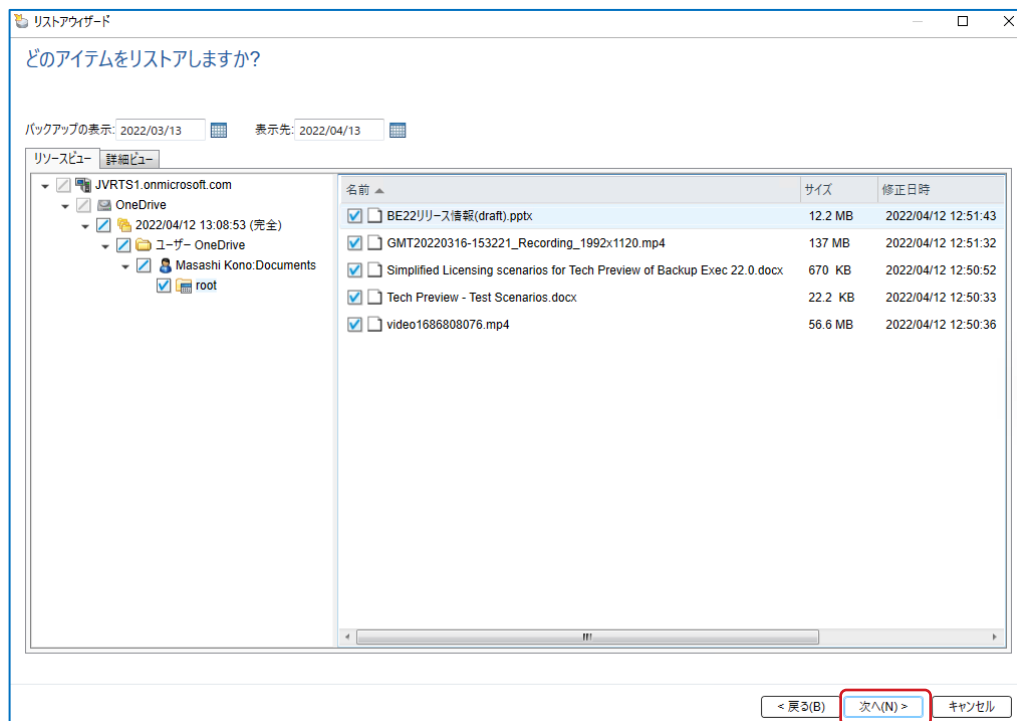


# OneDriveのリストア



※バックアップを1回でも行わないと、ここの一覧にアプリケーションが表示されません。

# OneDriveのリストア



- バックアップセットを選んで、リストアしたいファイルを選択します。今回は、先ほど削除したファイルを選択します。

# OneDriveのリストア

リストアウィザード

リストアの前後に実行する追加タスクを指定してください。

☐ リストアの前や後にコマンドを実行する(H)

リストア前に実行するコマンドを入力(O):

リストア後に実行するコマンドを入力(A):

☐ コマンドが正常に完了したかどうかを判断するために、Backup Exec でコマンドの終了コードを確認する(L)

☒ アプリコマンドが正しく実行された場合にのみジョブを実行する(R)

☒ アプリコマンドが正しく実行された場合にのみポストコマンドを実行する(U)

☒ ジョブが失敗した場合でもポストコマンドを実行する(V)

コマンドが完了しない場合にコマンドをキャンセルする時間 コマンド実行後(C)  分

コマンドを実行するコンピュータ:

☐ この Backup Exec サーバー(T)

☒ リストア先の各サーバー(E)

通知

ジョブの完了通知の受信者を選択してください。

受信者の名前	受信者の種類
<input type="text"/>	

☐ 電子メール通知にジョブログを含める(I)

追加タスク用に選択するオプションを指定してください。



リストアウィザード

使用するジョブ名とスケジュールを指定してください。

名前(A):

スケジュール: ☒ 今すぐ実行(W)

☐ 次の時点で実行(O):

☐ スケジュールを設定せずに作成(I)

オプション

スケジュールキュー

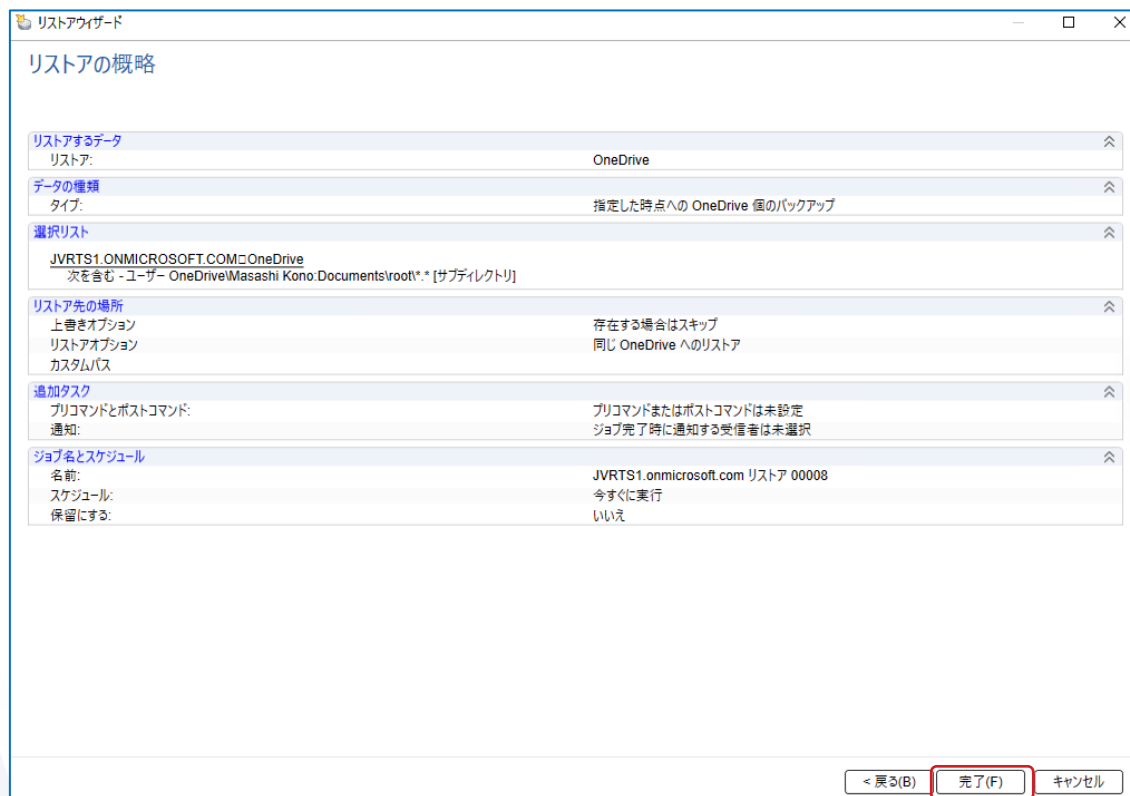
予定開始時刻から次の期間起動されないジョブを再スケジュールする:  時間

☐ 予定開始時刻から次の期間経過しても実行しているジョブはキャンセルする(F):  時間

☐ 保留にする(U)

- ここからは、従来通りの設定画面です。

# OneDriveのリストア



- 最後に概略を確認して、「完了」をクリックすると、リストアが開始します。



# OneDriveのリストア

ジョブ履歴 - 7 項目										
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット
JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00009	JVRTS1.onmi...	ローカル重複排除用ディスクストレージ:1	リストア	成功	100%	2022/04/12 14:10:46	2022/04/12 14:11:38	00:00:52	207 MB	388.00 MB/分

ジョブログ

1 / 1 ジョブログ

ジョブ履歴 ジョブログ

ジョブの情報

ジョブサーバー: BESVR01  
ジョブ名: JVRTS1.onmicrosoft.com リストア 00009  
ジョブの開始日時: 2022年4月12日、14:10:46  
ジョブの種類: リストア  
ジョブログ: BEX\_BESVR01\_00018.xml

ジョブ - リストア

サーバー - BESVR01

セットの情報 - SCF::¥¥JVRTS1.onmicrosoft.com{404bc57f-d886-4004-a3ab-54b3dc434e76}  
¥0365Family¥0365OneDrive

ジョブの完了状態

ジョブの終了日時: 2022年4月12日、14:11:38  
完了状態: 成功

名前を付けて保存(A) 印刷(P) 検索(F)

ヘルプ(H) 閉じる



OneDrive

Masashi Kono

自分のファイル

最近

共有

ごみ箱

クイック アクセス

サイトを使用すると、チームでプロジェクト作業を行うことができ、どこからでもどのデバイスからでも情報を共有できます。サイトを作成するかフォローすると、ここに表示されます。

共有ライブラリの作成

自分のファイル

名前 更新日時

BE22リリース情報(draft).pptx 約 1 時間前

GMT20220316-153221\_Recording\_1992x11... 約 1 時間前

Simplified Licensing scenarios for Tech Prev... 約 1 時間前

Tech Preview - Test Scenarios.docx 約 1 時間前

video1686808076.mp4 約 1 時間前

- リストアが完了すると、このように表示されて、先ほど削除したファイルがOneDriveにリストアされていることが確認できます。

# Veritas **Backup Exec 22**

## Backup Execのシンプルライセンス

# Veritas Backup Exec 22

## Backup Execのシンプルライセンス



- **Backup Execのシンプルライセンス**は新たなサブスクリプションライセンスで、インスタンス（台数）をベースにしたライセンスです。
- Microsoft 365の保護を含む Backup Execのすべての製品機能が最初から有効となっています。
- 1つのインスタンスは、1台の仮想マシンもしくは1台の物理マシンもしくはM365のユーザ10人分のバックアップに使えます。

 1 インスタンス =



仮想マシン

or



物理マシン

or



10 x M365  
ユーザ

# Veritas Backup Exec 22

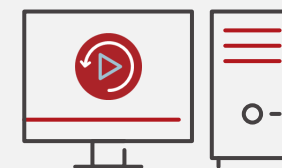
## Backup Execのシンプルライセンス



- 2種類のライセンス
  - Simple **Core Pack**ライセンス
  - Simple **Add on**ライセンス
- まずベースライセンスであるSimple **Core Pack**ライセンスを購入します。
- Simple **Core Pack**ライセンスには、以下のコンポーネント、権利が含まれています。
  - Backup Execサーバ
  - 5つのインスタンスの保護
  - M365のユーザー10人分の保護
- Simple **Core Pack**ライセンスは、Backup Execサーバに導入します。
  - サイト毎に最低1ライセンス必要

### BE Simple Core Pack

Backup Exec  
サーバ



5 x インスタンス

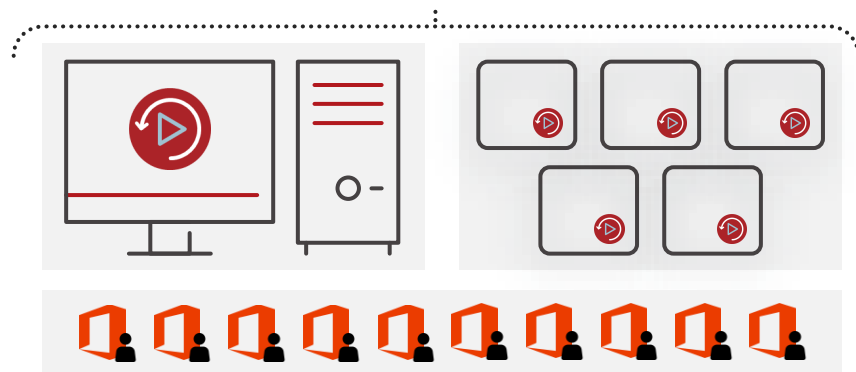


Bonus!  
10 x M365ユーザ

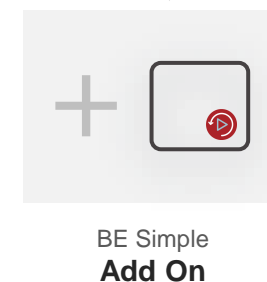


追加の保護が必要な場合は、**Simple Add On**ライセンスを購入します。

BE Simple **Core Pack**  
(5インスタンス)



BE Simple **Add On** (1インスタンス)



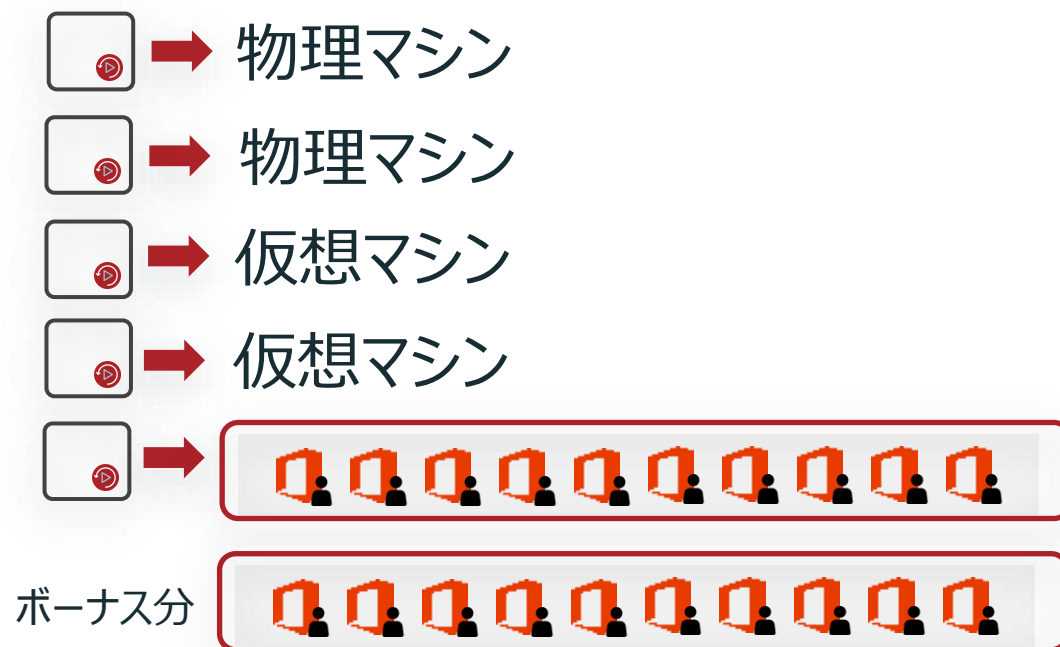
- Simple **Add On**ライセンスには、1インスタンスを保護する権利が含まれています。

# インスタンスの用途について

## Simple Core Packの例:

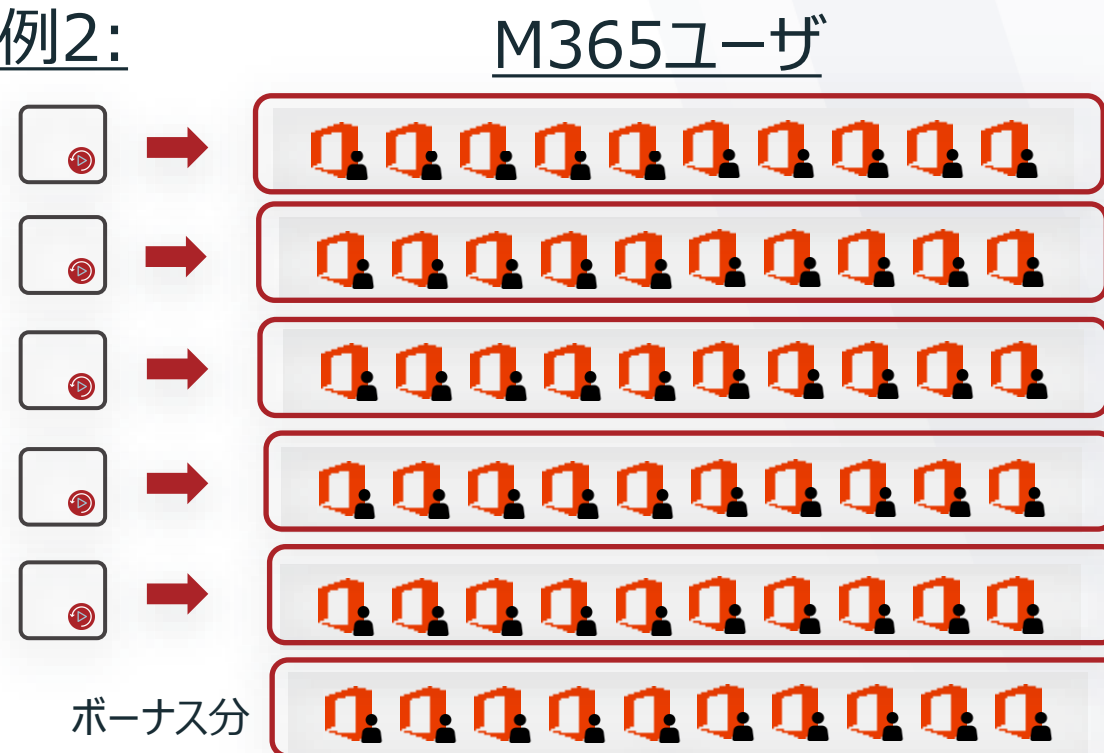
- Core Pack, Add onに含まれているインスタンスは、物理マシン、仮想マシンのバックアップに限らず、M365ユーザ10人分のバックアップとして使用することができます。
- インスタンスの用途は自由

### 例1:



物理マシン2台、仮想マシン2台、  
M365ユーザ20人分のバックアップが可能

### 例2:



最大60ユーザ分のM365のバックアップが可能

# インスタンスの用途について

Add onライセンスの例:

例1:



例2:



例3:



- インスタンスの用途は、後から変更できます  
例: 当初は物理マシン → 後からM365の保護に
- 但し、一つのインスタンスを複数の用途で同時に使用することはできません。  
例: 物理と仮想マシンの同時使用
- Add onライセンスにはM365のボーナスインスタンスはありません。

# Veritas Backup Exec 22 Backup Execのシンプルライセンス



## Backup Exec 22 ライセンス計算ツール

Backup Execのシンプルライセンスに必要なライセンス数をすぐに計算するWebベースのツールです。保護したいワークロードの数を入力するだけで、必要なライセンス数が表示されます。

### サンプル構成



M365のテナント

60

計算ツールに入れる値

### Workload Inputs

M365 Users

60

Physical Devices

0

Virtual Machines

0

### Required licenses

Core Packs

1

Add Ons

0

ライセンスツールの結果

こちらのサイトにあるツールは、Backup Exec 22のリリース後（6月6日以降）にアクセス可能となる予定です。

<https://www.veritas.com/resources/be-simple-license-calculator>

# Veritas Backup Exec 22 Backup Execのシンプルライセンス



## Backup Exec 22 ライセンス計算ツール

Backup Execのシンプルライセンスに必要なライセンス数をすぐに計算するWebベースのツールです。保護したいワークロードの数を入力するだけで、必要なライセンス数が表示されます。

### Workload Inputs

M365 Users

40

Physical Devices

2

Virtual Machines

0

### Required licenses

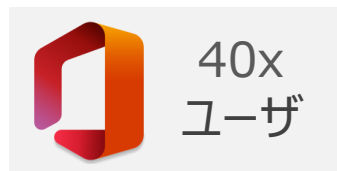
Core Packs

1

Add Ons

0

### サンプル構成



40x  
ユーザ

M365のテナント



物理マシン

40

2

計算ツールに入れる値

ランセンスツールの結果

こちらのサイトにあるツールは、Backup Exec 22のリリース後（6月6日以降）にアクセス可能となる予定です。

<https://www.veritas.com/resources/be-simple-license-calculator>

# Veritas Backup Exec 22 Backup Execのシンプルライセンス



## Backup Exec 22 ライセンス計算ツール

Backup Execのシンプルライセンスに必要なライセンス数をすぐに計算するWebベースのツールです。保護したいワークロードの数を入力するだけで、必要なライセンス数が表示されます。

### Workload Inputs

M365 Users

60

Physical Devices

2

Virtual Machines

7

### Required licenses

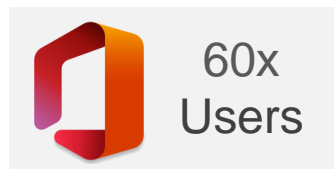
Core Packs

1

Add Ons

9

### サンプル構成



60x  
Users

M365のテナント



物理マシン



7x  
VM

仮想マシン

60

2

7

計算ツールに入れる値

ライセンスツールの結果


こちらのサイトにあるツールは、Backup Exec 22のリリース後（6月6日以降）にアクセス可能となる予定です。

<https://www.veritas.com/resources/be-simple-license-calculator>

# シンプルライセンスのアクティベート

注) こちらの画面キャプチャーは、  
正式版から取得したものではないため、  
正式版と異なる場合があります。

Backup Exec (TM)

 Veritas Backup Exec™

▶ **ライセンスの追加**  
ライセンスの確認  
機能の設定  
言語の選択  
インストールの概要  
進行状況  
完了

^^^Add an Entitlement ID to download the license file from the Veritas Entitlement Management System. Click Next and enter the credentials of the Veritas User Account that has permissions to the entitlements. If you already have the license file, use the Import License File button.

資格 ID の入力

リストに追加(A) ライセンスファイルのインポート(I)

アクティベートされたライセンス:

資格 ID	製品名	開始日	終了日
A	Backup Exec シンプルアドオン	2022/03/10	2022/07/06
A	Backup Exec シンプルコアパック	2022/03/08	2022/07/06

[ライセンスエラーのトラブルシューティング](#)  
[オンラインマニュアルの表示](#)  
[Backup Exec パートナーの検索](#)  
[ライセンスの有効化、アップグレード、または更新](#)  
[Backup Exec の購入。](#)

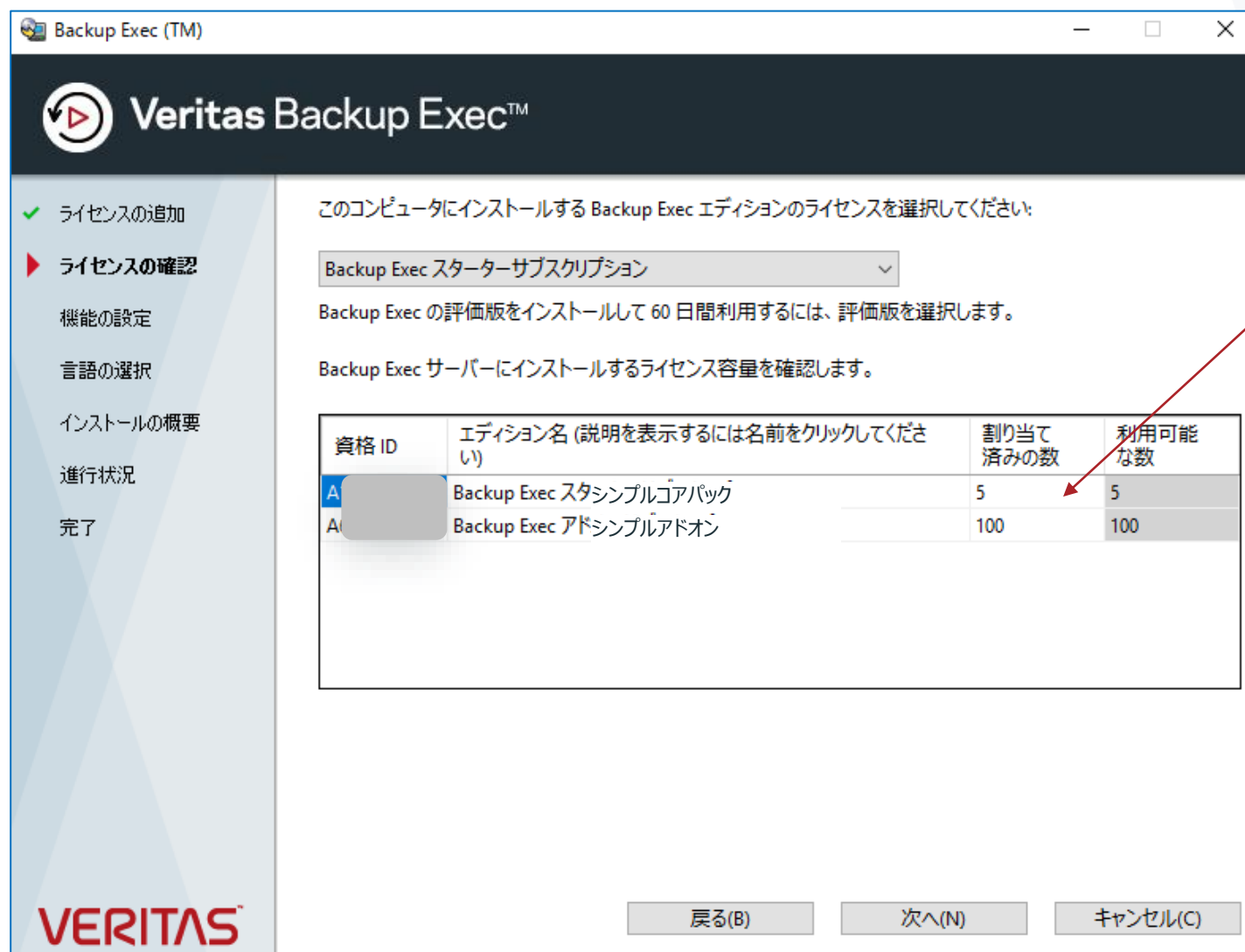
資格 ID の削除(R)

次へ(N) キャンセル(C)

**VERITAS**

# シンプルライセンスのアクティベート

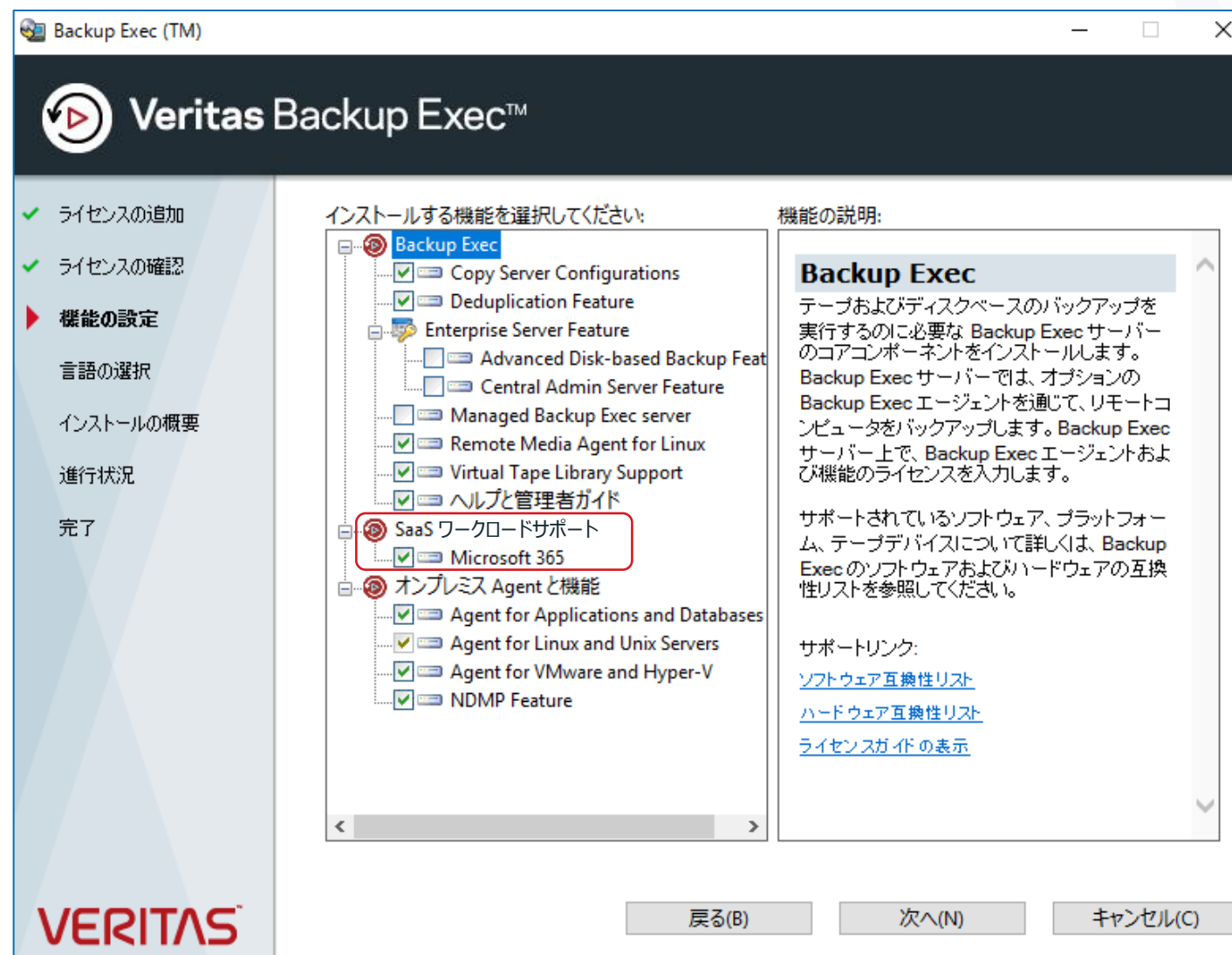
注) こちらの画面キャプチャーは、  
正式版から取得したものではないため、  
正式版と異なる場合があります。



インスタンスを他のBEサーバに  
割り当てることができます  
例: BEサーバA:5インスタンス  
BEサーバB:100インスタンス

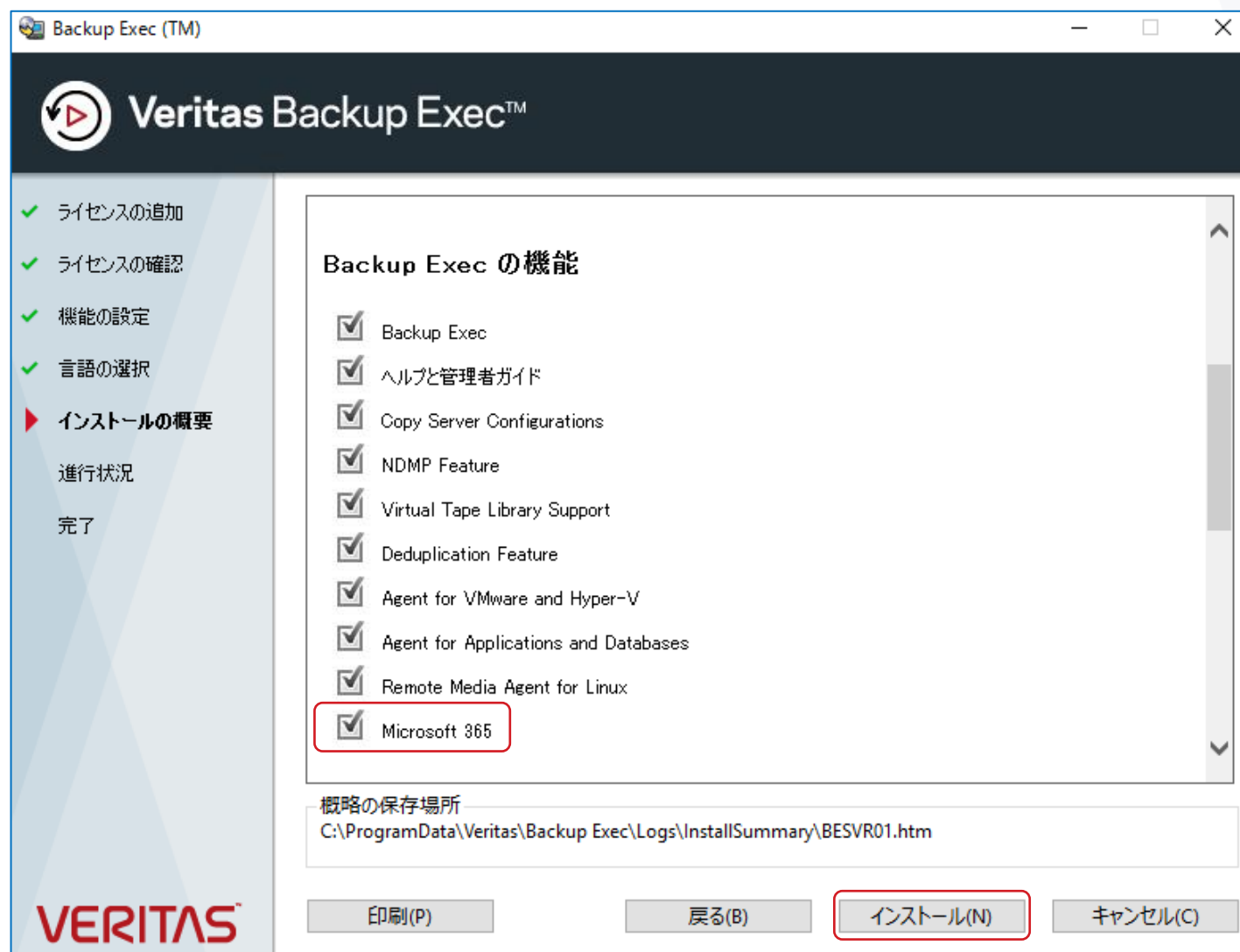
# シンプルライセンスのアクティベート

注) こちらの画面キャプチャーは、  
正式版から取得したものではありません。  
正式版と異なる場合があります。



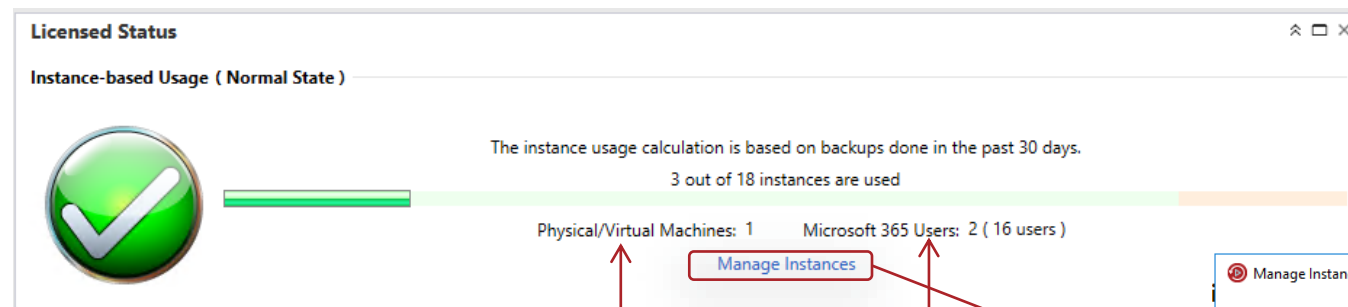
# シンプルライセンスのアクティベート

注) こちらの画面キャプチャーは、  
正式版から取得したものではないため、  
正式版と異なる場合があります。

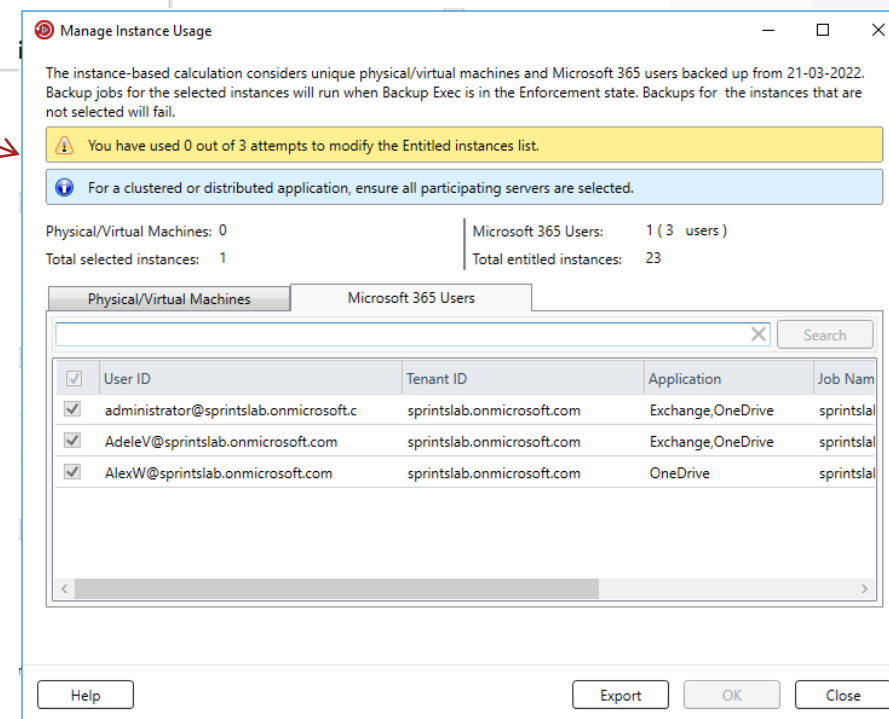


# ライセンスのステータス（Backup Exec管理コンソール）

注）こちらの画面キャプチャーは、  
正式版から取得したものではないため、  
英語表示となっています。

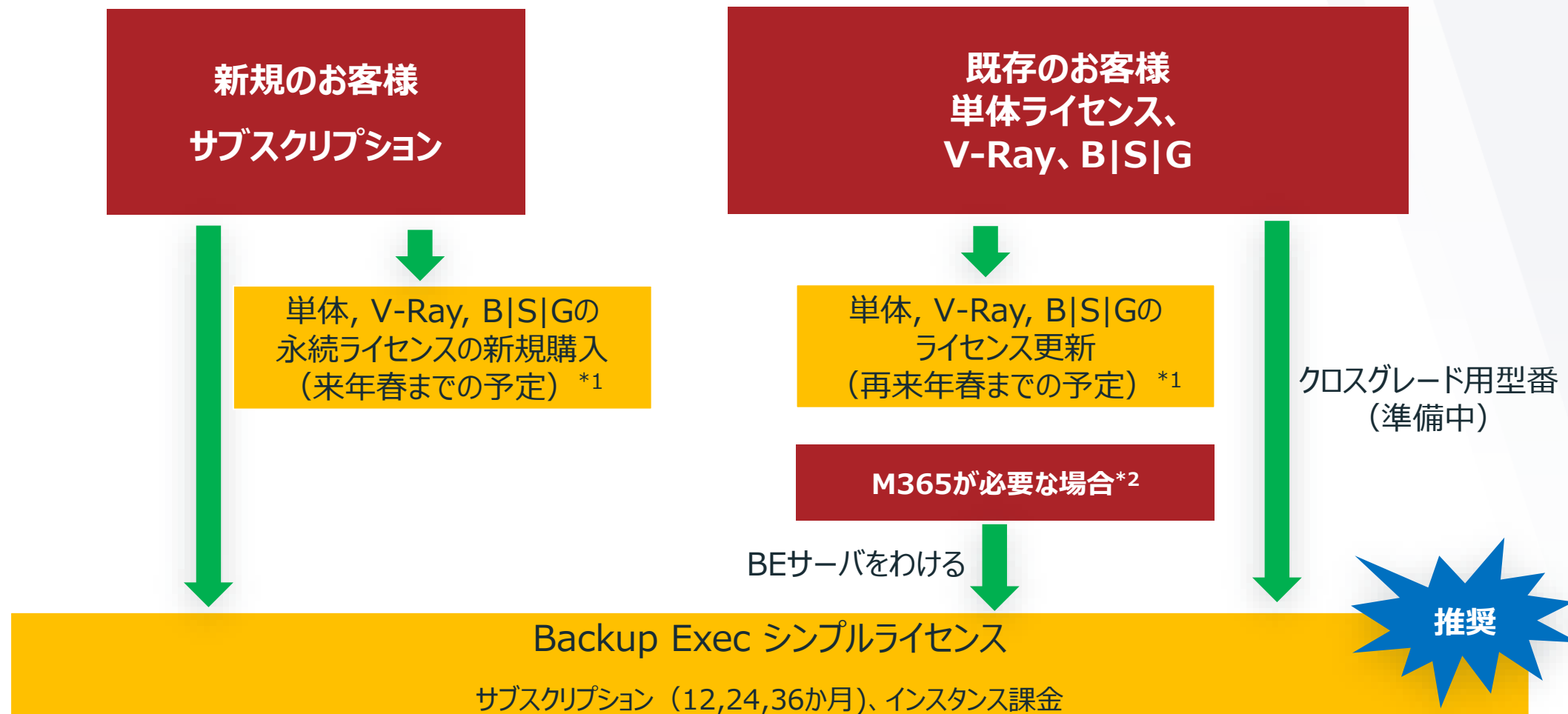


この例では、物理または仮想マシンが1台、  
M365のユーザ16人分（2インスタンス）の  
バックアップがインスタンスを消費しています



さらに内訳を確認することができます  
（こちらは、違うところから持ってきた画面キャプチャーです）

# Backup Exec 22: シンプルライセンス (アップグレードパス)



\*1 販売を継続時期はあくまでも目安です。市場や販売の状況によっては変わる可能性があります。

\*2 従来のライセンス (単体、V-Ray、B/S/G) は、M365の保護には対応していません。必ず、シンプルライセンスが必要となります。

## <参考> シンプルライセンスの価格

サブスクリプションライセンス		ベーシックメンテナンス付		エッセンシャルサポート付	
製品名称	区分	型番	メーカー希望 小売り価格 (税別)	型番	メーカー希望 小売り価格 (税別)
<b>Simple Core Pack</b> (5 instance)	新規 (1年間)	32147-M0008	¥99,400	32149-M0008	¥108,000
<b>Simple Add On</b> (1 instance)	新規 (1年間)	32148-M0008	¥16,600	32150-M0008	¥ 18,000

注) 2022年6月時点の1年間保守付きのCorporate価格です（税別）。製品仕様/価格などの内容は、予告無く変更される場合があります。  
上記価格に記載の無い製品の価格等は、ご購入元/仕入れ元の販売店様、もしくは弊社購入前窓口ベリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。

# Veritas **Backup Exec 22**

## まとめ

# Veritas Backup Exec 22 最新情報 まとめ



## Microsoft 365の保護

Microsoft 365のExchangeとOneDriveのデータ保護がBackup Execに完全に統合されました！



SharePointと  
Teamsは、  
次期リリースで  
対応予定



## シンプルライセンス

- M365の保護だけでなく、すべての製品機能が最初から利用可能となっています。面倒なオプションの選択や選択漏れの心配はありません。
- すべての管理を一か所から、一つのコンソールできます。今まで慣れ親しんだ操作性を損なう心配はありません。まさにオールインワンのライセンスです！

これからの提案に是非、Backup Exec 22とシンプルライセンスをご検討ください！



VERITAS™

ありがとうございました！

Copyright © 2022 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.